

Nutanix.NCP-DB-6.10.v2026-04-16.q96

試験コード : NCP-DB-6.10
試験名称 : Nutanix Certified Professional - Database Automation (NCP-DB) v6.10
認証ベンダー : Nutanix
無料問題の数 : 96
バージョン : v2026-04-16
ページの閲覧量 : 105
問題集の閲覧量 : 1151
<https://www.jpnsiken.com/shiken/Nutanix.NCP-DB-6.10.v2026-04-16.q96.html>

質問: 1

午後 10 時 42 分にユーザーが誤ってデータベース内のテーブルを削除してしまい、NDB 管理者がそのテーブルを復元する任務を負います。

スナップショットスケジュールは 30 分ごとに設定され、ログキャッチアップは 15 分ごとに設定されます。

利用可能な最後のスナップショットは午後 10 時 30 分です。

最小限のデータ損失でテーブルを復元するための最適なパスは何ですか？

- A. 午後 10 時 42 分のスナップショットを復元します。
- B. 午後 10 時 41 分までの時点を使用して復元します。
- C. 午後 10 時 42 分までの時点を使用して復元します。
- D. 午後 10:30 のスナップショットを復元します。

正解: [C \(コメントを发表する\)](#)

データ損失を最小限に抑えてテーブルを復元する最適な方法は、NDBのポイントインタイムリストア機能を使用することです。この機能により、管理者は利用可能なスナップショットとログに基づいて、データベースを特定の時点に復元できます。午後10時42分までのポイントインタイムリストアを使用することで、管理者はユーザーがテーブルを削除する直前の状態にテーブルを復旧し、データ損失を最小限に抑えることができます。他の方法は、古いスナップショットを復元することになるためデータ損失が増加する可能性があり、存在しないスナップショットを復元することになるため、最適ではありません。これは不可能です。

質問: 2

Era でネットワーク プロファイルを作成するには何が必要ですか？

- A. ネットワークには静的 IP アドレスが含まれている必要があります。
- B. ネットワークを Era に追加する必要があります。
- C. ネットワークは Era によって管理される必要があります。
- D. ネットワークは IP アドレス管理を提供する必要があります。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

Nutanix Database Automation (NCP-DB) の学習ドキュメントによると、Era でネットワークプロファイルを作成するには、ネットワークを Era に追加する必要があります。これは、データベース

を効率的に管理するために、Era がネットワークを制御する必要があるためです。ネットワークを Era に追加すると、新しいデータベースのプロビジョニング、既存のデータベースの管理など、さまざまな操作に使用できるようになります。

質問: 3

新しい管理者は、CLI 経由で NDB GUI パスワードを変更するタスクを負います。
このタスクを実行するにはどのコマンドを使用しますか？

- A. sudo パスワード era
- B. sudo ユーザー名 管理者 パスワード
- C. era-server > ユーザー名 管理者 パスワード
- D. era-server > セキュリティパスワードのリセット

正解: ([正解を表示します](#))

CLI経由でNDB GUIパスワードを変更するには、管理者はera-server > security password reset コマンドを使用する必要があります。このコマンドはNDBサーバー (CLIではera-serverと呼ばれます)と連携し、GUI管理者ユーザーのパスワードをリセットします。このプロセスでは通常、新しいパスワードの入力と確認が求められるため、安全なパスワード管理が確保されます。これは、NDBにおけるCLIベースのパスワード変更でサポートされている方法です。

質問: 4

管理者は SQL データベース クローンの削除を開始しましたが、すぐに失敗することに気がきました。

この失敗の原因は何でしょうか？

- A. 更新操作が進行中です。
- B. クローンには不変のマークが付けられています。
- C. 操作前にデータベースがオフラインとしてマークされていませんでした。
- D. データベース データ ドライブは他のアプリケーションと共有されます。

正解: ([正解を表示します](#))

NDBでSQLデータベースクローンの削除がすぐに失敗する場合は、クローンが不変としてマークされている可能性が最も高いです。不変クローンは、偶発的なデータ損失を防ぐために削除から保護されており、多くの場合、重要な開発環境やテスト環境で設定されています。削除を続行するには、管理者が (NDB GUIまたはCLIなどを使用して)この保護を明示的に解除する必要があります。

質問: 5

Era がパッチを当てる Oracle ソフトウェア コンポーネントはどれですか (2 つ選択してください)。

- A. グリッドホーム
- B. Oracleホーム
- C. アプリケーションホーム
- D. ユーザーホーム

正解: **A,B** ([コメントを發表する](#))

Nutanix Database Automation (NCP-DB) の学習資料によると、Era はデータベース構成の拡散を防ぐために、データベースへの帯域外パッチ適用機能を提供します。Era がパッチ適用する 2 つの Oracle ソフトウェア コンポーネントは次のとおりです。

グリッドホームとOracleホーム

これらのコンポーネントはOracleデータベースの運用に不可欠であり、最新の状態を維持することでデータセキュリティを確保し、重要なデータベース更新の効率的な検証を実現します。詳細については、Nutanixの公式ドキュメントおよびトレーニング資料をご覧ください。

質問: 6

NDB アップグレード中に最初にアップグレードされる NDB HA コントロール プレーン VM はどれですか?

- A. NDBサーバー
- B. リーダーNDB APIサーバー
- C. リーダーHAProxy
- D. NDBエージェントVM

正解: ([正解を表示します](#))

NDBのアップグレード中は、安定性とHAを維持するために、特定の順序でアップグレードプロセスが実行されます。リーダーNDB APIサーバーが最初にアップグレードされます。このサーバーはAPIリクエストを調整し、コントロールプレーンの稼働状態を維持します。リーダーサーバーを最初にアップグレードすることで、後続のコンポーネント（他のAPIサーバー、HAProxyなど）がリーダーサーバーの役割に依存するため、中断を最小限に抑えることができます。リーダーサーバーのアップグレードが完了すると、残りのNDB HAコントロールプレーンVM（フォロワーAPIサーバー、HAProxyなど）が順番にアップグレードされます。

質問: 7

データベース サーバー VM を NDB に登録する前に、管理者は必要なすべてのソフトウェアと構成の依存関係を確認するために何を使用する必要がありますか?

- A. 最小公倍数
- B. ソフトウェアのアップグレード
- C. 前提条件スクリプト
- D. NCC

正解: **C** ([コメントを發表する](#))

データベースサーバーVMをNDBに登録する前に、管理者は必要なソフトウェア（例データベースエンジン、OSの依存関係）と構成設定（例Windowsの場合はWinRM、Linuxの場合はSSH）がすべて揃っていることを確認する必要があります。NDBには前提条件スクリプトが用意されており、これをターゲットVMで実行することでこれらの依存関係を自動的にチェックできます。このスクリプトは互換性と準備状況を確認し、登録エラーを削減します。

質問: 8

管理者はSQL Serverの累積更新プログラム (CU)を展開する必要があります。NDBを使用してこの展開を準備するには、どのような手順が必要ですか？

- A. プロファイル VM にパッチを適用し、既存のソフトウェア プロファイルを削除して、プロファイル VM をソースとして使用して新しいソフトウェア プロファイルを作成します。
- B. CU 実行可能ファイルを使用して新しいソフトウェア プロファイル バージョンを作成し、そのバージョンを公開します。
- C. プロファイル VM にパッチを適用し、プロファイル VM をソースとして使用して新しいソフトウェア プロファイル バージョンを作成します。
- D. CU 実行可能ファイルを使用して新しいソフトウェア プロファイルを作成し、そのプロファイルを公開します。

正解: ([正解を表示します](#))

正解はCです。これは、NDB内のSQL ServerソフトウェアプロファイルにCUを適用するための推奨手順に従っているためです。プロファイルVMにパッチを適用することで、管理者はCUが既存のソフトウェアプロファイルの設定および構成と互換性があることを確認できます。新しいソフトウェアプロファイルバージョンを作成することで、管理者はロールバックのために以前のバージョンのソフトウェアプロファイルを保存し、新しいバージョンをテストして公開できるようにします。

オプションAは不正解です。既存のソフトウェアプロファイルを削除するため、データ損失が発生し、ロールバックができなくなる可能性があります。オプションBは不正解です。プロファイルVMにパッチを適用しないため、ソフトウェアプロファイルにエラーや不整合が生じる可能性があります。オプションDは不正解です。新しいバージョンではなく、新しいソフトウェアプロファイルを作成するため、混乱や重複が生じる可能性があります。

質問: 9

管理者はデータベースのトランザクションログを取得する必要があります。NDBはこの要件を満たすためにどのTime Machine操作を使用しますか？

- A. 先行書き込みログ
- B. ログフラッシュ
- C. ログキャッチアップ
- D. スナップショット

正解: ([正解を表示します](#))

NDBでデータベースのトランザクションログをキャプチャするには、Time Machineのログキャッチアップ処理を使用します。ログキャッチアップは、トランザクションログ (PostgreSQL WAL、SQL Serverログなど)を取得してスナップショットに適用することで、データベースを特定の時点に復元できるようにします。

この操作は、ログ データを組み込むことでスナップショット間のギャップを埋め、継続的なリカバリ チェーンを維持します。

質問: 10

データベース作成時にデータベース プロファイルを使用する主な目的は何ですか？

- A. バックアップの保存場所を定義する
- B. 標準化された構成セットをデータベースインスタンスに適用する
- C. データベースパッチバンドルを管理する
- D. 容量予測レポートを生成する

正解: ([正解を表示します](#))

データベース プロファイルは、CPU/メモリ、ストレージ レイアウト、DB パラメータなどの再利用可能な設定を定義し、一貫性のある予測可能な展開を保証します。

質問: 11

ソフトウェア プロファイルはどのように作成されますか？

- A. Ere IJI で、[Profiles Software] を選択し、テンプレート VM を選択します。
- B. Ere IJIでプロファイルソフトウェアを選択し、データベースエンジン、OSバージョン、データベースバージョンを選択します。
- C. 登録済みのデータベース サーバー VM からソフトウェア プロファイルを作成します。
- D. Era が提供するソフトウェア プロファイルを複製し、必要に応じて変更します。

正解: ([正解を表示します](#))

Nutanix Database Automation (NCP-DB) は、環境に合わせてカスタマイズされた事前定義プロファイルを使用して、データベースのプロビジョニングを簡素化します。OSとデータベースエンジンのテンプレートであるソフトウェアプロファイルを使用することで、ソフトウェアバージョンの一貫性を維持できます。その後、追加のプロファイルを使用してデプロイメントをカスタマイズできます。

質問: 12

管理者は、Nutanix NDB 環境での OS とデータベースのパッチ適用を担当しています。

管理者はこれらのアクティビティを自動化したいと考えています。

このタスクを実行するために管理者は何を構成する必要がありますか？

- A. アクセス制御
- B. パルス
- C. メンテナンスウィンドウ
- D. SMTPサーバー

正解: ([正解を表示します](#))

Nutanix NDB環境でOSとデータベースのパッチ適用を自動化するには、管理者はメンテナンスウィンドウを設定する必要があります。NDBのメンテナンスウィンドウを使用すると、管理者は指定した期間内に自動パッチ適用タスク (OSアップデートやデータベースソフトウェアアップデートなど) をスケジュール設定できるため、本番環境ワークロードへの影響を最小限に抑えることができます。この機能はソフトウェアプロファイルと統合されており、定期的またはオンデマンドで実行するように設定できるため、環境全体にわたってパッチが効率的かつ一貫して適用されます。

質問: 13

管理者は、QAやテスト/開発など、異なる用途向けに、同一のソースデータベースから複数のデータベースクローンをプロビジョニングする必要があります。リソース不足を回避するため、管理者は部門ごとにVMリソースを差別化したいと考えています。このタスクを最も効率的に実現する方法は何でしょうか？

- A. 複数のコンピューティング プロファイルを作成します。
- B. NCM Self Service を活用してデータベース クローンを展開します。
- C. 各部門ごとに VM テンプレートを使用します。
- D. リリース時にデータベース VM のサイズを変更するためのプレイブックを生成します。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

管理者は、同じソースデータベースから複数のデータベースクローンを異なる目的（例QAとテスト/開発）でプロビジョニングする必要があります。同時に、部門ごとにVMリソースを差別化することでリソース不足を回避します。これを実現する最も効率的な方法は、NDBで複数のコンピューティングプロファイルを作成することです。コンピューティングプロファイルは、VMのCPU、メモリ、その他のリソース割り当てを定義するため、管理者はリソース制限を調整（例QAにはリソースを多く、開発にはリソースを少なく）し、クローンのプロビジョニング時に適用できます。このアプローチはNDBに組み込まれており、手動調整なしで一貫したリソース管理を実現します。

質問: 14

管理者は、月末に削除されるようにスケジュールされたデータベース クローンを作成しました。クローンをさらに14日間保持するというリクエストを受け取りました。希望するクローンを選択した後、管理者はこのタスクをどのように満たすべきでしょうか？

- A. 削除スケジュールを希望の日付に更新します。
- B. 削除スケジュールを月末に更新します。
- C. 削除スケジュールを削除し、必要な削除スケジュールを追加します。
- D. [更新] を選択し、削除スケジュールを変更します。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

削除スケジュールは、Nutanix Eraの機能で、データベースクローンをいつ自動的に削除するかを指定できます。既存のクローンの削除スケジュールを変更するには、「クローン」ページでクローンを選択し、「更新」ボタンをクリックして、「削除スケジュール」オプションを希望の日付に変更します。これにより、必要に応じてクローンの有効期限を延長または短縮できます。既存の削除スケジュールを削除して新しいスケジュールを追加する必要はありません。これは不要な手順です。また、月末に削除スケジュールを更新する必要はありません。これは、クローンを14日間追加保持するという要求を満たさないためです。

質問: 15

iSCSI 接続を容易にするために、NDB サーバーとコントローラ VM 間でどのポートを開く必要がありますか？

- A. 22と9440
- B. 80と443
- C. 3205 と 3260
- D. 5985 と 5986

正解: **C** ([コメントを發表する](#))

Nutanix Database Automation (NCP-DB) コースによると、NDB サーバーとコントローラ VM 間の iSCSI 接続にはポート 3205 と 3260 が必要です。ポート 3205 は NDB iSCSI イニシエータ サービスに使用され、iSCSI セッションを開始してコントローラ VM に SCSI コマンドを送信します。ポート 3260 は iSCSI ターゲット サービスに使用され、受信 iSCSI 要求をリッスンし、コントローラ VM 上のストレージ デバイスへのアクセスを提供します。その他のオプションは iSCSI 接続とは関係ありません。ポート 22 は SSH、ポート 9440 は Prism Central、ポート 80 は HTTP、ポート 443 は HTTPS、ポート 5985 は WinRM HTTP、ポート 5986 は WinRM HTTPS に使用されます。

質問: 16

NDB 内の異なるチームまたはプロジェクト間でリソースを分離し、アクセスを制限するには、何を使用すればよいですか？

- A. ソフトウェアプロファイル
- B. ロールベースのアクセス制御 (RBAC) を備えたプロジェクト
- C. コンピューティングプロファイル
- D. ネットワークポリシー

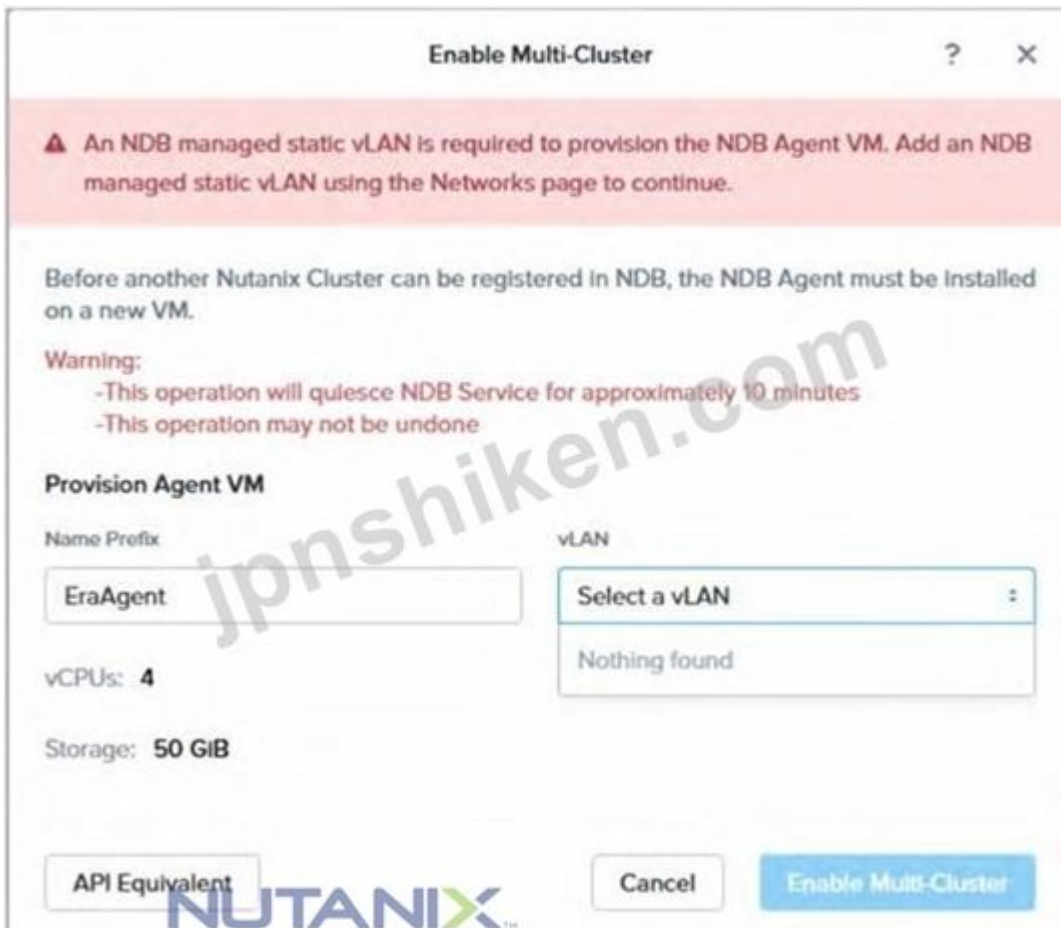
正解: **B** ([コメントを發表する](#))

Prism Central Projects と RBAC を組み合わせることで、NDB 環境で適切なマルチテナント分離とアクセス制御が可能になります。

有効的な**NCP-DB-6.10**問題集はJPNTTest.com提供され、**NCP-DB-6.10**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**NCP-DB-6.10**試験問題集を提供します。JPNTTest.com NCP-DB-6.10試験問題集はもう更新されました。ここで**NCP-DB-6.10**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/NCP-DB-6.10-mondaishu> **267**問、**30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 17

添付資料を参照してください。管理者がNDBインスタンスのマルチクラスタ設定を有効化しましたが、添付資料にあるようにウィザードにVLANが表示されません。ドロップダウンボックスでVLANを選択できるのはどの設定ですか？



- A. 最初にネットワーク プロファイルを作成する必要があります。
- B. サブネットが高度なネットワーク制御を活用しているかどうかを確認します。
- C. IP アドレス プールは NDB で管理する必要があります。
- D. VLAN サブネットは IP アドレス管理を使用する必要があります。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

提供されている図は、NDBの「マルチクラスタの有効化」構成ウィザードを示しています。このウィザードでは、VLANドロップダウンが空で「何も見つかりません」というメッセージが表示されており、選択可能なVLANがないことを示しています。この問題は、NDBではNDBエージェントVMをプロビジョニングしてマルチクラスタサポートを有効にする前に、ネットワークプロファイルを作成する必要があるために発生します。ネットワークプロファイルは、NDBが管理する静的VLANを定義します。これは、マルチクラスタ設定時のネットワーク構成に不可欠です。図の警告（NDBエージェントVMをプロビジョニングするには、NDB管理の静的VLANが必要です。続行するには、[ネットワーク]ページを使用してNDB管理の静的VLANを追加してください。）は、管理者が[ネットワーク]ページでネットワークプロファイルを作成し、VLANドロップダウンに値を設定する必要があることを示しています。

質問: 18

NDB の Patch OS now 機能を使用する場合、管理者はどのようにして更新を Red Hat ベースのオペレーティング システムのセキュリティ更新のみに制限すればよいでしょうか？

- A. データベース VM をカスタム パッチ リポジトリにポイントし、yum update --security コマンドを入力します。
- B. 詳細オプションをチェックし、事後コマンドの下で、オペレーティング システム パッチ適用前のコマンド ウィンドウに yum update security と入力します。
- C. 今すぐ OS をパッチ機能を使用する前に、データベース VM をカスタム パッチ リポジトリにポイントします。
- D. 詳細オプションをチェックし、カスタム コマンドの下で、オペレーティング システム パッチ適用コマンド ウィンドウに yum update --security と入力します。

正解: ([正解を表示します](#))

NDBの「今すぐOSにパッチを適用」機能を使用してRed Hatベースのオペレーティングシステムにアップデートを適用する場合、管理者は詳細オプションを活用することで、アップデートをセキュリティパッチのみに限定できます。オペレーティングシステムのパッチ適用コマンドウィンドウの「カスタムコマンド」セクションで「yum update --security」と入力すると、パッケージマネージャーはセキュリティ関連のアップデートのみをインストールします。これにより、利用可能なすべてのアップデートを適用することでシステムの安定性が損なわれることなく、システムのセキュリティが確保されます。

質問: 19

管理者は、最も効率的な手段を使用して Linux OS のカーネル パッチを除外するにはどうすればよいでしょうか？

- A. Patch Now の詳細オプションでリポジトリを無効にするための事前スクリプトを定義します。
- B. パッチ適用前に VM 上の適切なリポジトリを除外します。
- C. VM 上の適切なリポジトリを除外し、パッチ適用前に再起動します。
- D. メンテナンス ウィンドウの詳細オプションでリポジトリを無効にする事前スクリプトを定義します。

正解: ([正解を表示します](#))

NDBは、データベースサーバーVMへのLinux OSパッチ適用をサポートしています。Linux OSパッチ適用は、Linuxディストリビューションに応じて、yumまたはaptパッケージマネージャーを使用して実行されます。Linux OSのカーネルパッチを除外するには、管理者はパッチ適用前にVM上の適切なリポジトリを無効化または除外することができます。これは、yum.confまたはapt.confファイルを編集するか、yumまたはaptコマンドで--disablerepoまたは--excludオプションを使用することで実行できます。これにより、管理者は他のVMに影響を与えたり、追加のスクリプトや再起動を必要としたりすることなく、VMに適用するパッチを制御できます。

質問: 20

Era を使用して Oracle データベースをアップグレードする場合、アップグレード カテゴリのタイプは何ですか？

- A. インプレースアップグレード
- B. アウトオブプレースアップグレード

C. 破壊的なアップグレード破壊

D. 中断のないアップグレード

正解: ([正解を表示します](#))

Eraを使用してOracleデータベースをアップグレードする場合、アップグレードの種類は「インプレース・アップグレード」です。この方法では、既存のデータベースと同じOracleホーム内でデータベース・ソフトウェアをアップグレードします。AutoUpgradeユーティリティは、アップグレード開始前、アップグレードのデプロイメント中、そしてアップグレード後のチェックと構成の移行中に、アップグレードプロセスを自動化するために使用されます。この方法は、そのシンプルさと効率性から推奨されています。

質問: 21

Eraでは、どのコンポーネントを使用して、カスタムメタデータをエンティティ(クローン、タイムマシン、データベース、データベースサーバー)に割り当てることができますか?

A. タグ

B. 注釈

C. テキスト

D. インデックス

正解: ([正解を表示します](#))

Nutanix Eraでは、タグを使用してエンティティ(クローン、タイムマシン、データベース、データベースサーバー)にカスタムメタデータを割り当てることができます。タグはNutanix Eraのコンポーネントであり、ユーザーはタグを使用して様々なエンティティにカスタムメタデータを割り当てることができます。これにより、Eraプラットフォーム内でこれらのエンティティを整理、検索、管理する機能が強化されます。

質問: 22

NDB マルチクラスターにおけるデータアクセス管理ポリシーの目的は何ですか?

A. 複数のNutanixクラスタをNDBに登録する

B. 単一のNutanixクラスタでスナップショット操作を実行する

C. NDBに登録されているすべてのNutanixクラスタ間でタイムマシンデータの可用性を管理する

D. NDBに登録されているすべてのNutanixクラスタ間でタイムマシンのデータアクセスを削除します。

正解: ([正解を表示します](#))

データアクセス管理(DAM)ポリシーは、NDBマルチクラスタの機能であり、異なるNutanixクラスタ間でタイムマシンデータへのアクセスと可用性を制御できます。DAMポリシーを使用して、ソースデータベースのタイムマシンデータにアクセスできるクラスタと、バックアップまたは災害復旧の目的でタイムマシンデータを複製できるクラスタを指定できます。DAMポリシーは、ストレージとネットワークリソースを最適化し、データベースワークロードのセキュリティとコンプライアンスを確保するのに役立ちます。DAMポリシーの目的は、NDBに複数のNutanixクラスタを登録しないことです。これは、NDB設定ページの[クラスタの追加]オプションを使用

して行います。また、DAM ポリシーの目的は、単一の Nutanix クラスタでスナップショット操作を実行しないことです。これは、NDB ダッシュボードのタイム マシン機能を使用して行います。さらに、DAM ポリシーの目的は、NDB に登録されているすべての Nutanix クラスタ間でタイムマシンのデータ アクセスを削除することではないです。これは、[タイム マシン] ページの [削除] オプションを使用して行います。

質問: 23

NDB 管理者は、NDB がデータベース ランドスケープを管理するために使用するコンテナ内のスペース消費の一部を解放したいと考えています。

管理者が再利用を調査するために、ストレージが最も消費されている場所を確認するために表示できる NDB 内の最適な場所を 2 つ教えてください。(2 つ選択してください。)

- A. NDB ダッシュボードでクローン データの経過日数を表示します。
- B. ソース データベース グリッドを表示して、登録されているデータベースのサイズと状態を確認します。
- C. クローン データベース テーブルを表示して、クローン データベースのサイズと最終更新を確認します。
- D. Time Machine のスナップショット テーブルを表示して、取得されたスナップショットの再利用可能な領域と経過時間を確認します。

正解: C,D ([コメントを公表する](#))

NDB管理コンテナのスペースを解放するには、管理者はストレージ消費源を特定する必要があります。NDBの2つの重要な情報源から、実用的なインサイトが得られます。

クローンデータベーステーブル :すべてのクローンデータベースと、そのサイズ（現在のストレージ使用量）と最終更新日時（古さを示す）が表示されます。クローンは多くの場合、かなりの容量を消費するため、古いものや使用されていないものを削除することでストレージ容量を節約できます。

Time Machineのスナップショットテーブル :このテーブルには、再利用可能領域（削除によって回復可能な領域）や保存期間（スナップショットの保存期間）などの詳細情報とともにスナップショットが表示されます。古いスナップショットや不要なスナップショットは、再利用可能化の対象となる可能性が高いです。

質問: 24

管理者は、NDB を使用してプロビジョニングされた MongoDB データベースのストレージを増やす必要があります。

NDB CLIを起動した後、管理者はこの操作のための入力ファイルの作成を開始します。入力ファイルにはどのパラメータを含める必要がありますか？

- A. ストレージの拡張
- B. 更新
- C. データベース
- D. データパーセント

正解: ([正解を表示します](#))

NDBを使用してプロビジョニングされたMongoDBデータベースのストレージを増やすには、管理者はNDB CLIの入力ファイルでextend_storageパラメータを使用する必要があります。このパラメータは、データベースサーバーVMに追加するストレージ容量をGB単位で指定します。例えば、現在のストレージサイズが100GBで、管理者がそれを150GBに増やしたい場合、入力ファイルに次の行を含める必要があります。extend_storage: 50

質問: 25

NDBでは、管理者はPostgreSQLデータベースサーバーVMをデータベースに登録する必要があります。このタスクを正常に完了するには、データベースのデータとログファイルをどこに配置すればよいでしょうか？

- A. 別のマウントポイント
- B. 同じマウントポイント上
- C. バイナリインストールと同じディスク上
- D. オペレーティングシステムと同じディスク上

正解: ([正解を表示します](#))

PostgreSQL データベース サーバー VM を NDB 上のデータベースに登録するには、データベース データとログ ファイルを、オペレーティング システムおよびバイナリ インストールとは別のマウント ポイントに配置する必要があります。

これは、NDBがマウントポイントをデータベースサーバーVMとデータベースの識別子として使用するためです。データファイルとログファイルがオペレーティングシステムまたはバイナリインストールと同じマウントポイントにある場合、NDBはそれらを有効なデータベースサーバーVMまたはデータベースとして認識できません。そのため、管理者はデータファイルとログファイル用に別のマウントポイントを作成し、登録プロセス中にそれを指定する必要があります。

質問: 26

アラートダッシュボード内で設定できる 2 つのステータス値は何ですか? (2 つ選択してください。)

- A. 車
- B. 解決済み
- C. データの復元力
- D. 確認しました

正解: ([正解を表示します](#))

正解はBとDです。これらはNDBのアラートダッシュボードで設定できる2つのステータス値です。「解決済み」はアラートが解決され、対応が不要になったことを意味します。「確認済み」はアラートが確認され、対応中であることを意味します。選択肢Aは不正解です。「自動」はステータス値ではなく、事前定義されたルールに基づいてアラートを自動的に解決するモードです。選択肢Cは不正解です。「データレジリエンシー」はステータス値ではなく、NDB内のデータの可用性と整合性を確保する機能です。

質問: 27

管理者は、外部ロードバランサーを使用してPostgreSQLクラスタインスタンスをプロビジョニングする必要があります。ソフトウェアプロファイルの作成時に、参照VMで省略できるソフトウェアはどれですか？

- A. パトロン
- B. HAプロキシ
- C. キープアライブ
- D. etcd

正解: **B** ([コメントを发表する](#))

NDBで外部ロードバランサーを使用してPostgreSQLクラスタインスタンスをプロビジョニングする場合、管理者はReference: VMからソフトウェアプロファイルを作成します。Reference: VMには通常、Patroni (HA管理用)、HAProxy (内部ロードバランシング用)、keepalived (高可用性管理用)、etcd (分散構成用などのソフトウェアが含まれています。外部ロードバランサーを使用するため、内部HAProxyはReference: VMから省略できます。

NDBはトラフィックを分散するために外部ロードバランサーに依存するため、ソフトウェアプロファイルでHAProxyは不要になりますが、他のコンポーネントはクラスタ管理に不可欠なままです。

質問: 28

管理者は複数のNutanixデータベースサーバーVMにパッチを適用するよう依頼されました。パッチ適用前に、管理者はどのような設定を行う必要がありますか？

- A. リポジトリ
- B. アクティブディレクトリアクセス
- C. パルス
- D. SMTPサーバー

正解: **A** ([コメントを发表する](#))

NDBの「[今すぐOSにパッチを適用](#)」機能を使用して複数のNutanixデータベースサーバーVMにパッチを適用する前に、管理者はリポジトリを設定する必要があります。リポジトリ (カスタムパッチリポジトリやNutanix提供のソースなど)には、OSアップデートまたはパッチ (WindowsまたはRed Hatベースのシステム用など)が含まれています。NDBでは、パッチを取得して適用するためにこのリポジトリを指定する必要があります。これにより、データベースVMが検証済みのソースから更新されることが保証されます。

質問: 29

PostgreSQL HAインスタンスの復元中に、管理者はスタンバイノードの復元に失敗したことに気付きました。プライマリノードはアプリケーショントラフィックを処理できる状態です。

NDBはデータベースをどのような状態で残しますか？

- A. PAKFIAL.READY
- B. オフライン

C. オンライン

D. 回復保留中

正解: [C \(コメントを公表する\)](#)

NDBでPostgreSQL HAインスタンスを復元する際、スタンバイノードの復元に失敗してもプライマリノードが正常に復元され、アプリケーショントラフィックを処理できる状態であれば、NDBはプライマリノードの観点からデータベースが稼働中であるとみなします。このシナリオでは、スタンバイノードの障害によりHA構成が完全には維持されていないにもかかわらず、NDBはデータベースを「ONLINE」状態のままにします。これは、プライマリノードが機能し、リクエストを処理できる状態であることを反映しています。

管理者はスタンバイノードを個別に処理する必要があります(再プロビジョニングやトラブルシューティングなど)。ただし、データベースの状態はプライマリノードの準備状況によって決まります。

質問: 30

NDB コンピューティング プロファイルには何が含まれていますか?

A. vCPU、vCPU あたりのコア数、およびデータベース サーバー VM のメモリ量。

B. Windows ドメイン名 (FQDN)、ドメイン ユーザー、およびパスワード。

C. 新しいデータベース サーバー VM が使用する VLAN。

D. 登録されたデータベース サーバー VM から生成されたデータベースとオペレーティング システムのイメージ。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

NDBコンピューティングプロファイルは、NDBを使用してプロビジョニングされるデータベースサーバーVMのCPUおよびメモリリソースを定義します。データベースサーバーVMのネットワーク、ドメイン、ソフトウェアに関する情報は含まれません。これらの情報は、ネットワークプロファイル、ドメインプロファイル、ソフトウェアプロファイルなどの個別のプロファイルで指定されます。

質問: 31

SMTP サーバーを構成するときに使用できる 2 つの暗号化方法はどれですか (2 つ選択してください)。

A. TLS

B. SSL

C. S/MIME

D. IPsec

正解: [\(正解を表示します\)](#)

NDB は、電子メール通知とアラートを送信するための SMTP サーバー構成をサポートしています。SMTP サーバー構成では、SMTP サーバーのアドレス、ポート、ユーザー名、パスワード、および暗号化方式を指定する必要があります。暗号化方式によって、送信中に電子メールメッセージが保護される方法が決まります。NDB は、SMTP サーバー構成で TLS と SSL の 2 つの暗号化方式をサポートしています。TLS (トランスポート層セキュリティ) は、電子メールクライアントと

SMTP サーバー間でデータを暗号化して認証するプロトコルです。TLS は明示的と暗黙的の2つのモードで動作できます。明示的モードでは、電子メールクライアントとSMTPサーバーは、プレーンテキスト接続を確立した後、暗号化方式とパラメータをネゴシエートします。このモードでは通常、ポート 587 が使用されます。暗黙的モードでは、電子メールクライアントとSMTPサーバーは、ネゴシエーションなしで、接続が最初から暗号化されていると想定します。このモードでは通常、ポート 465 が使用されます。

SSL (Secure Sockets Layer) は TLS の前身であり、メールクライアントとSMTPサーバー間のデータの暗号化と認証を行います。SSL は暗黙モードでのみ動作し、ポートデフォルトでは 465 です。SSL は TLS ほど安全性は高くありませんが、依然として多くのメールプロバイダーで広く使用されており、サポートされています。S/MIME (Secure/Multipurpose Internet Mail Extensions) は、トランスポート層ではなくアプリケーション層でメールメッセージを暗号化および署名する標準です。

S/MIME では、電子メールメッセージの機密性と整合性を確保するために、デジタル証明書と公開鍵暗号化を使用する必要があります。S/MIME は、電子メールクライアントとSMTPサーバー間の接続に影響を与えないため、SMTPサーバー構成には有効な暗号化方式ではありません。IPsec (インターネットプロトコルセキュリティ) は、アプリケーション層やトランスポート層ではなく、ネットワーク層でIPパケットを保護するプロトコルスイートです。IPsec は、ルーター、ファイアウォール、ホストなど、任意の2つのIPエンドポイント間のデータを暗号化および認証できません。IPsec は、SMTP で使用される特定のプロトコルまたはポートには適用されないため、SMTPサーバー構成には有効な暗号化方式ではありません。

有効的な **NCP-DB-6.10** 問題集は JPNTTest.com 提供され、**NCP-DB-6.10** 試験に合格することに役に立ちます！ JPNTTest.com は今最新 **NCP-DB-6.10** 試験問題集を提供します。JPNTTest.com **NCP-DB-6.10** 試験問題集はもう更新されました。ここで **NCP-DB-6.10** 問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/NCP-DB-6.10-mondaishu> **267**問、**30%**ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 32

NDB 管理者は、既存のソフトウェアプロファイルを使用して新しい MongoDB データベースをプロビジョニングするようデータベース管理者に依頼しました。データベース管理者はこの操作を完了できません。

原因は何でしょうか？

- A. データベースのクローン操作が進行中です。
- B. ソフトウェア プロファイルは別のユーザーによって作成されました。
- C. 管理者には Prism Element に対する適切な権限がありません。
- D. ソフトウェア プロファイルでパッチ適用操作が実行中です。

正解: C ([コメントを发表する](#))

データベース管理者が既存のソフトウェアプロファイルを使用して新しいMongoDBデータベースをプロビジョニングできない場合、最も可能性の高い原因は、管理者がPrism Elementで適切な権限を持っていないことです。NDBは、クラスタレベルの操作（ストレージやコンピューティングリソースの割り当てなど）をPrism Elementに依存しています。データベース管理者は、NDBでソフトウェアプロファイルが利用可能であっても、基盤となるインフラストラクチャと対話するために適切なPrism Elementロール（クラスタ管理者など）を持っている必要があります。これらの権限がないと、プロビジョニングは失敗します。

質問: 33

関連付けられているTime Machineを削除せずにデータベースの登録を解除しました。Time Machineの状態はどうなっていますか？

- A. 準備完了
- B. 凍結
- C. 一時停止
- D. アクティブ

正解: ([正解を表示します](#))

関連付けられているTime Machineを削除せずにデータベースをNDBから登録解除すると、Time Machineは Frozen（凍結）状態になります。この状態では、Time Machineは既存のスナップショットと保護データをすべて保持しますが、新しいスナップショットのキャプチャやログのキャッチアップ操作は実行されません。これにより、管理者はアクティブな管理を停止しながら、将来の使用（監査やリカバリなど）に備えて履歴データを保存できます。Frozen状態では、データベースが再登録されるか、Time Machineが明示的に削除されるまで、それ以上の変更は行われません。

質問: 34

Era を使用した Oracle アップグレード シナリオで、ソース データベースが Nor-Nutanix プラットフォーム上にある場合、Era ワークフローを使用してアップグレードすることは可能ですか？

- A. はい、Nutanix 以外のプラットフォーム上のデータベース インスタンスをアップグレードすることは可能です。
- B. はい、nan-Nutanixプラットフォームがビッグエンディアンプラットフォームの場合のみ、
- C. いいえ、データベースのインストールはアップグレードするためにEra管理されている必要があります
- D. はい、nori-Nutanix プラットフォームがリトルエンディアン プラットフォームの場合のみです。

正解: ([正解を表示します](#))

Nutanix Database Automation (NCP-DB) の学習ドキュメントによると、Nutanix Era は、プロビジョニング、パッチ適用、アップグレードなど、データベース運用を自動化 簡素化するデータベース管理ツールです。ただし、Era で管理するデータベースは、Era に登録する必要があります。つまり、データベースが Nutanix 以外のプラットフォーム上にある場合、Era ワークフローを使用

して直接アップグレードすることはできません。Era を使用して管理およびアップグレードするには、まず Nutanix プラットフォームに移行し、Era に登録する必要があります。

質問: 35

管理者は、プロファイルを使用してデータベースのプロビジョニングプロセスを簡素化したいと考えています。プロファイルには、SQLサービスの起動アカウントとNDBワーカーサービスのアカウントに関する情報を含める必要があります。

管理者がこのタスクを達成するのに役立つプロファイルはどれですか？

- A. Windowsドメイン
- B. ネットワーク
- C. データベースパラメータ
- D. ソフトウェア

正解: [\(正解を表示します\)](#)

正解はAです。Windowsドメインプロファイルは、SQLサービスの起動アカウントとNDBワーカーサービスのアカウントに関する情報を含むプロファイルです。Windowsドメインプロファイルは、NDBがWindowsベースのデータベースサーバーとデータベースを管理する方法を定義する設定の集合です。以下の情報が含まれています。

データベースサーバーVMをドメインに参加させるためのドメイン名と資格情報、データベースサーバーVMでSQL Serverサービスを実行するためのSQLサービス起動アカウントとパスワード、データベースサーバーVMでNDBデータベースエージェントサービスを実行するためのNDBワーカーサービスアカウントとパスワード、データベースに使用するSQL Server認証モード。Windowsドメインプロファイルを使用することで、管理者は複数のデータベースサーバーVMとデータベースに同じ設定を適用し、毎回手動で入力する必要がなくなるため、データベースのプロビジョニングプロセスを簡素化できます。その他のオプションは、SQLサービス起動アカウントとNDBワーカーサービスアカウントに関する情報を含まない、異なるタイプのプロファイルを説明しているため、正しくありません。

質問: 36

NDB のアップグレードに、すぐに使用できる (OOB) ソフトウェア プロファイルの更新が含まれている場合、NDB をアップグレードすると、古い OOB ソフトウェア プロファイル バージョンはどうなりますか？

- A. ソフトウェア プロファイルを使用するデータベース VM が Time Machines を使用しており、パッチ適用前の 24 時間以内にスナップショットが正常に作成されている場合。
- B. ソフトウェア プロファイルが使用されていない場合、NDB はメタデータおよび保護ドメインからプロファイルのすべてのバージョンを削除します。
- C. ソフトウェア プロファイルを使用しているデータベース VM がシャットダウンされると、NDB はメタデータおよび保護ドメインからプロファイルのすべてのバージョンを削除します。

D. データベース VM がソフトウェア プロファイルの基本バージョンを使用していない場合、NDB はメタデータおよび保護ドメインからすべてのバージョンのプロファイルを削除します。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

NDB をアップグレードする際に、すぐに使用できる (OOB) ソフトウェア プロファイル (PostgreSQL、SQL Server などのデータベース ソフトウェアの定義済みプロファイルなど) の更新が含まれる場合、NDB はこれらのプロファイルの古いバージョンをその使用状況に基づいて管理します。古い OOB ソフトウェア プロファイルがどのデータベース VM でもアクティブに使用されていない場合、NDB はアップグレード プロセス中に、メタデータおよび関連する保護ドメインからそれらのプロファイルのすべてのバージョンを自動的に削除します。このクリーンアップメカニズムにより、関連性や必要性がなくなった古いプロファイルを削除することで、無駄のない効率的なシステムを維持できます。

質問: 37

管理者は、新しいNDBを導入した後、プロビジョニング機能をテストしたいと考えています。このタスクを実行するには、どのデータベースインスタンスが利用できますか？

- A. PostgreSQL
- B. Oracle DB
- C. MSSQL サーバー
- D. モンゴDB

正解: [A \(コメントを發表する\)](#)

新しいNDBを導入した後、管理者は、完全にサポートされ、すぐに設定可能なデータベースインスタンスを使用して、プロビジョニング機能をテストできます。PostgreSQLは、NDBが初期導入時からサポートするコアデータベースエンジンの1つであり、組み込みのプロビジョニングテンプレートとHA機能を備えているため、最適な選択肢です。NDBはPostgreSQLインスタンスのプロビジョニングプロセスを合理化しているため、VM作成、ストレージ割り当て、ネットワーク構成などのプロビジョニングワークフローのテストに最適です。

質問: 38

管理者は複数のNutanixクラスタにわたってNDB HAを構成しました。どのような障害シナリオでリカバリに手動操作が必要になりますか？

- A. 複数の API サーバー VM がダウンしています。
- B. 1 つのリポジトリ VM がダウンしています。
- C. 複数の HA プロキシ VM がダウンしています。
- D. NDB サーバー プロセスがダウンしています。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

NDB HAは、NDBサービスとそのコンポーネントに高可用性と耐障害性を提供する機能です。NDB HAは、複数のNutanixクラスタにまたがるAPIサーバーVM、リポジトリVM、およびHAProxy VMのクラスタを構築します。各コンポーネントには、リーダーと、同期され、障害発生

時にリーダーの役割を引き継ぐフォロワーのセットがあります。NDB HAは、NDBコンポーネントの健全性とステータスを監視し、可能な場合は自動フェイルオーバーとリカバリを実行します。ただし、一部の障害シナリオでは、NDBサービスを復旧するために管理者による手動介入が必要になる場合があります。そのようなシナリオの1つは、複数のAPIサーバーVMがダウンしている場合です。APIサーバーVMは、NDB UIおよびCLIからのリクエストの処理、およびリポジトリVMおよびHAProxy VMとの通信を担っています。複数のAPIサーバーVMがダウンした場合、NDBサービスが利用できなくなったり不安定になったりする可能性があります。管理者は影響を受けるAPIサーバーVMを手動で再起動または再デプロイする必要があります。その他のオプションでは、NDB HAが自動的に処理するため、手動介入は必要ありません。1台のリポジトリVMがダウンした場合、NDB HAは最新データを持つ別のリポジトリVMにフェイルオーバーします。複数のHAProxy VMがダウンした場合、NDB HAはトラフィックを残りのHAProxy VMにルーティングします。NDBサーバープロセスがダウンした場合、NDB HAはプロセスを再起動するか、別のAPIサーバーVMにフェイルオーバーします。

質問: 39

展示を参照してください。管理者はSQL Serverユーザーを使用してデータベースを登録したいと考えています。

このユーザーはどこで指定できますか？

The screenshot shows the 'Register Database Server VM' window. It contains the following elements:

- Nutanix Cluster:** A dropdown menu with 'Select a Cluster'.
- IP Address or Name of VM:** A text input field.
- Description:** A text input field.
- Update in Nutanix Cluster:** A checkbox.
- Select Accounts for Database Server VM Access:** A section header.
- Windows Administrator Name:** A text input field.
- Windows Administrator Password:** A text input field.
- Instance:** A text input field.
- Connect to SQL Server Login:** A dropdown menu with 'Windows Admin User' selected.
- User Name:** A text input field.
- API Equivalent:** A button.
- Cancel:** A button.
- Register:** A button.

- A. Windowsの管理者名フィールド
- B. SQL Serverユーザーを選択した後のログインフィールド
- C. コマンドライン登録オプション経由のみ
- D. API同等セクションのコードを変更することにより

正解: [\(正解を表示します\)](#)

提供されている画像は、NDBの「データベースサーバー VM の登録」インターフェースを示しています。このインターフェースには、Windows および SQL Server の資格情報オプションを含む、データベースサーバーの登録フィールドが含まれています。管理者が Windows 資格情報ではなく SQL Server ユーザーを使用してデータベースを登録する場合、このユーザーを指定する適切な場所は「SQL Server ログインへの接続」セクションです。インターフェースのこのセクションの下には「ユーザー名」フィールドがあり、SQL Server ユーザーを使用するオプションを選択すると有効になります（通常はラジオボタンまたはドロップダウンで示されますが、画像では完全には表示されていません）。これにより、NDB は Windows 管理者の資格情報のみに頼るのではなく、データベース固有の資格情報を使用して SQL Server インスタンスを認証および管理できます。

質問: 40

3つのNutanixクラスタでNDB環境が構築されています。管理者は、これらのクラスタごとにMicrosoft SQL Serverソフトウェアプロファイルを作成するように依頼されました。上記のプロファイルを作成するために必要な要件は何ですか？

- A. 最初にすべてのクラスタでコンピューティング プロファイルを作成する必要があります。
- B. NDB のマルチクラスタ機能を有効にします。
- C. 現在の NDB サービスに対して高可用性を有効にします。
- D. 各クラスタは、DB エンジンを搭載した VM をホストする必要があります。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

NDB環境内の3つのNutanixクラスタそれぞれにMicrosoft SQL Serverソフトウェアプロファイルを作成するには、各クラスタにMicrosoft SQL ServerデータベースエンジンがインストールされたVMを少なくとも1台ホストすることが重要な要件となります。NDBはこれらのVMを使用して、各クラスタに存在する特定のSQL Serverのバージョンと構成に合わせてソフトウェアプロファイルを検出、検証、生成します。これにより、プロファイルはクラスタ環境と互換性があり、プロビジョニングやパッチ適用に使用できます。

質問: 41

管理者は NDB GUI パスワードをリセットする必要があります。
管理者は SSH セッションから何を実行する必要がありますか？

- A. 1. era-server CLIを入力します
2. 実行: セキュリティパスワードのリセット
- B. sudo パスワード era
- C. sudo パスワード 管理者
- D. 1. 時代 CLI を入力します
2. 実行: セキュリティパスワードのリセット

正解: [A \(コメントを發表する\)](#)

Nutanix Database Service (NDB) の NDB GUI パスワードをリセットするには、管理者は SSH セッションを介してシステムにアクセスし、NDB が提供する適切なコマンドラインインターフェース (CLI) ツールを使用する必要があります。正しい手順は、era-server CLI に入ることです。era-server CLI は、パスワードリセットなどのセキュリティ設定を含む NDB 関連の設定を管理するための専用の CLI 環境です。era-server CLI に入ったら、管理者は security password reset コマンドを実行して、NDB GUI のパスワードリセットプロセスを開始します。この方法により、NDB 管理環境内でリセットが安全に実行され、Nutanix が推奨する管理手順に準拠します。

質問: 42

管理者は NDB マルチクラスタを有効にします。
専用 VM にデプロイされる NDB サービス コンポーネントはどれですか？

- A. エージェントVM
- B. HAプロキシ
- C. リポジトリDB
- D. APIVM

正解: ([正解を表示します](#))

管理者がNDBマルチクラスタ機能を有効にすると、分散環境をサポートするために特定のコンポーネントがデプロイまたは再構成されます。HAProxy（高可用性プロキシ）は、クラスタ間の負荷分散と安全な通信を管理する重要なコンポーネントです。マルチクラスタ構成では、HAProxyは専用のVMにデプロイされ、クラスタ間でのAPI呼び出しやGUIアクセスなどのNDBサービスの効率的なトラフィック分散と高可用性を確保します。

この専用展開により、スケーラビリティと回復力が向上します。

質問: 43

管理者は、可用性グループ (AG) データベースのコピーデータ管理操作にEraを使用したいと考えています。AGデータベースは、以下に示すように、異なる名前付きインスタンスを持つレプリカでホストされています。

- SQLAGN1\EMR
- SQLAGN2\EMR
- SQLAGN3\DW

SQLAGN3\DW はリアルタイムデータを必要とする Analytics サービスを実行しています。管理者は Era にデータベースをどのように登録すればよいですか？

- A. データベースを可用性データベースとして登録します。
- B. データベースをスタンドアロンデータベースとして登録します。
- C. AGクラスターからSQLAGN3を登録し、データベースを可用性データベースとして登録します。

正解: A ([コメントを發表する](#))

Nutanix Database Automation (NCP-DB) の学習ドキュメントによると、可用性グループ (AG) データベースを扱う場合、データベースを可用性データベースとして登録する必要があります。これは、AG データベースが異なる名前付きインスタンスを持つレプリカ上でホストされており、可用性データベースとして登録することで、すべてのインスタンス間でコピーデータ管理操作を実行できるためです。これは、SQLAGN3\DW 上で実行される Analytics サービスなどのサービスでリアルタイムデータが必要な場合に特に重要です。

質問: 44

Time Machine の修復機能が何に使用できるかを説明している記述はどれですか。

- A. Time Machine を最新の NDB レベルにパッチします。
- B. Time Machine の復元機能のギャップを解消します。
- C. Time Machine 内のデータベース クローンを更新します。
- D. マルウェアが発生した場合に、スナップショットから Time Machine を復元します。

正解: ([正解を表示します](#))

NDBのTime Machine Heal機能は、Time Machineの復元ポイントチェーンにおける不整合やギャップを解消し、継続的で信頼性の高い復旧履歴を確保するように設計されています。ネットワークの問題やエージェントのエラーなどの障害によってスキップされた可能性のある、欠落し

たログバックアップやスナップショットを特定して修復することで、復元機能のギャップを解消します。

この機能は、ソフトウェアにパッチを適用したり、クローンを更新したり、マルウェアから復元したりするのではなく、Time Machine のデータ保護タイムラインの整合性を維持することに重点を置いています。

質問: 45

コスト削減プログラムにより、多くのMicrosoft SQL Serverインスタンスが、中程度のコンピューティングプロファイルを使用してNDBによって管理されるDBサーバーVMに統合される予定です。データベース管理者はDBストレージ容量の不足を懸念しており、拡張を検討しています。

どの NDB タスクを実行する必要がありますか？

- A. データベース サーバーの VM を更新します。
- B. Prism Element で vDisk を展開します。
- C. コンピューティング プロファイルを更新します。
- D. ソース データベースをスケーリングします。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

NDBで管理されているデータベースサーバーVMにMicrosoft SQL Serverインスタンスを統合し、中程度のコンピューティングプロファイルを使用する場合、需要の増加によりDBストレージ容量に関する懸念が生じる可能性があります。NDBでは、この問題に対処するための適切なタスクは「データベースサーバーVMの更新」です。これにより、管理者はデータベースをホストするVMのリソース割り当て (ストレージ容量を含む) を調整できます。このタスクはNDBインターフェース内で実行でき、コンピューティングプロファイルを変更したり外部ツールを使用したりすることなく、ディスク容量を拡張したり、ストレージ設定を再構成したりできます。

質問: 46

管理者は、Era でプロビジョニングされたインスタンスに PostgreSQL ソフトウェアのマイナーバージョンアップグレードを適用する必要があります。

パッチを適用する前に管理者が実行する必要がある手順は何ですか？

- A. 新しいソフトウェア プロファイルを作成します。
- B. データベース インスタンスをメンテナンス モードにします。
- C. ソフトウェア プロファイルバージョン ウィジェットに移動し、更新をクリックします。
- D. 新しいソフトウェア プロファイルを移行します。

正解: [A \(コメントを發表する\)](#)

Nutanix データベース サービス (NDB) は、PostgreSQL の自動マイナーバージョンアップグレードをサポートしています。

パッチを適用する前に、管理者は新しいソフトウェアプロファイルを作成する必要があります。これは、ソフトウェアプロファイルにデータベースエンジンのバイナリと、データベースエンジンの実行に必要なその他のソフトウェアが含まれているためです。したがって、マイナーバージョンアップグレードを適用するには、更新されたバイナリを含む新しいソフトウェアプロファ

イルを作成する必要があります。新しいソフトウェアプロファイルを作成したら、それを使用してPostgreSQLデータベースにパッチを適用できます。

有効的な**NCP-DB-6.10**問題集はJPNTTest.com提供され、**NCP-DB-6.10**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**NCP-DB-6.10**試験問題集を提供します。JPNTTest.com NCP-DB-6.10試験問題集はもう更新されました。ここで**NCP-DB-6.10**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/NCP-DB-6.10-mondaishu> **267問、30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 47

ND8 のアラート ポリシーはどの重大度レベルに設定されていますか？

- A. エラー
- B. 情報
- C. クリティカル
- D. 警告

正解: ([正解を表示します](#))

Nutanix Database Service (NDB) では、データベース運用に影響を与える重要なイベントを管理者に通知するようにアラートポリシーが設定されています。NDB アラートポリシーのデフォルトの重大度レベルは「エラー」に設定されています。このレベルは、失敗した操作（図に示すようにプロビジョニングの失敗など）、接続の問題、その他の重大な運用上の問題など、注意が必要な問題を示します。シナリオによっては、情報、クリティカル、警告などの他の重大度レベルが使用される場合もありますが、NDB アラートポリシーの基本構成は「エラー」から始まります。これにより、管理者は重大度の低い通知に圧倒されることなく、対処が必要な問題に関するアラートを確実に受け取ることができます。

質問: 48

管理者は、マルチクラスタプロビジョニング用にNutanixクラスタを登録しようとしています。Era クラスタは以下の構成でセットアップされています。

- Era マルチクラスタが有効になっています。
- Era ServerストレージコンテナとEraプロビジョニングコンテナは Era クラスタでは異なります。

管理者は何を構成する必要がありますか？

- A. DBのプロビジョニングに使用されるEraサーバーコンテナとリモートコンテナ間のストレージマッピング。
- B. Era Server ストレージ コンテナと Era プロビジョニング コンテナにまたがるディスク。
- C. Era コンテナと、データベースのプロビジョニングには使用されないリモート コンテナ間のストレージマッピング。

D. Era Agent VM とデータベース サーバー VM をプロビジョニングするための個別のリモート コンテナ。

正解: [A \(コメントを發表する\)](#)

Nutanix Era のマルチクラスタが有効で、Era クラスタ上の Era Server ストレージコンテナと Era プロビジョニングコンテナが異なる構成の場合、管理者は Era Server コンテナと、データベースのプロビジョニングに使用するリモートコンテナ間のストレージマッピングを設定する必要があります。これは、Nutanix Era が Nutanix クラスタの登録時に指定したストレージコンテナをデータベースのプロビジョニングに使用するためです。したがって、データベースが正しくプロビジョニングされるようにするには、Era Server コンテナとプロビジョニングに使用するリモートコンテナ間にストレージマッピングを確立する必要があります。

質問: 49

NDB サーバーと CVM が iSCSI 接続を容易にできるようにするには、Prism Element で何を構成する必要がありますか？

- A. 仮想IP
- B. データサービスIP
- C. セカンダリDNS IP
- D. バックプレーンIP

正解: [\(正解を表示します\)](#)

Nutanix データベースサービス (NDB) サーバー、コントローラ VM (CVM)、および Prism Element 間の iSCSI 接続を有効にするには、Prism Element でデータサービス IP を設定する必要があります。データサービス IP は、iSCSI ターゲットの検出と接続を容易にするクラスタ全体のアドレスとして機能します。Nutanix Volumes (ブロックストレージサービス) は、この IP を使用して、iSCSI プロトコル経由で NDB サーバーなどの外部クライアントまたはサービスにストレージを提供します。この IP により、iSCSI トラフィックが正しくルーティングされ、CVM に障害が発生した場合でもデータサービス IP の所有権をクラスタ内の別の CVM に移行できるため、可用性が維持されます。

質問: 50

開発チームから、管理者に本番環境の財務データベースのコピーを提供するよう依頼がありました。開発チームでは、開発環境に移行する前に財務データはすべてマスクする必要があるとしています。

管理者は開発環境用にマスクされたデータを含むクローンをどのように作成すればよいですか？

- A. Time Machine からクローンを作成し、事前事後コマンド セクションのクローン後フィールドにマスキング コマンドを貼り付けます。
- B. 1. ソース DB VM、Dev VM、または SW プロファイル VM にマスキング スクリプトを作成します。
2. Time Machine からクローンを作成し、マスキング スクリプトの完全なパス\名前を使用してクローン後のオプションを定義します。
- C. 1. データをマスクするスクリプトを作成します。

2. Time Machine からクローンを作成し、マスキング スクリプトの完全なパス\名前を使用してクローン後のオプションを定義します。

D. Time Machine からクローンを作成し、事前事後コマンド セクションの事前クローン フィールドにマスキング コマンドを貼り付けます。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

Nutanix Database Automation (NCP-DB) コースによると、Pre-Post Commands セクションでは、管理者がクローン操作の前後に実行できるカスタム スクリプトを指定できます。マスキング スクリプトは、ソース データベースにアクセスできる任意の VM (ソース DB VM、Dev VM、SW Profile VM など) に作成できます。スクリプトには、実際の値をダミー値に置き換えたり、データを暗号化したりするなど、Finance データベース内の機密データをマスクするコマンドを含める必要があります。その後、管理者は Time Machine からクローンを作成し、マスキング スクリプトのフルパスと名前を使用してクローン後のオプションを定義できます。これにより、クローンの作成後にスクリプトが実行され、開発チームがデータを利用できるようになる前にデータがマスクされます。その他のオプションは正しくありません。間違ったフィールド (pre-clone ではなく post-clone) を使用しているか、マスキング スクリプトの作成場所または保存場所が指定されていません。

質問: 51

管理者は、NDB VM 上の静的 IP アドレスを変更するために、どのように NDB コマンドラインを入力するのでしょうか?

- A. era-server
- B. だった
- C. cerebro_cli
- D. 算術コマンド

正解: [C \(コメントを公表する\)](#)

NDB VM の静的 IP アドレスを変更するには、管理者は cerebro_cli コマンドを使用して NDB コマンドラインを入力する必要があります。cerebro_cli コマンドは、NDB インスタンスとそのコンポーネントの管理を担当する Cerebro サービスにアクセスするために使用されます。cerebro_cli コマンドは、NDB VM から、または NDB VM にネットワーク接続されている他の VM から実行できます。cerebro_cli コマンドには、NDB VM の IP アドレス、ホスト名、パスワード、証明書の変更など、さまざまなタスクを実行するためのさまざまなサブコマンドとオプションがあります。静的 IP アドレスを変更するには、管理者は、新しい IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバーなどの適切なパラメータを指定した cerebro_cli network update サブコマンドを使用する必要があります。cerebro_cli network update サブコマンドでは、管理者が認証のために NDB VM の現在のパスワードを入力する必要があります。

IP アドレスを変更した後、変更を有効にするには管理者が NDB VM を再起動する必要があります。

質問: 52

管理者がデータベースサーバーVMをNDBに登録しようとしています。C:\ドライブに配置されていると登録が失敗するファイルの種類は何ですか？

- A. ページ
- B. システム
- C. データベース
- D. バックアップ

正解: ([正解を表示します](#))

ページファイルは、Windowsが物理メモリに収まらないデータを格納するために使用する一時ファイルです。ページファイルは、エラーやパフォーマンスの問題を引き起こす可能性があるため、データベースサーバーVMのNDBへの登録を妨げる可能性があります。そのため、ページファイルは、NDBエージェントやその他のファイルがインストールされているC:\ドライブとは別のドライブまたはパーティションに配置する必要があります。システムファイル、データベースファイル、およびバックアップファイルは、破損していないか、NDBの要件と互換性がない限り、データベースサーバーVMのNDBへの登録を妨げることはありません。

質問: 53

管理者は、最低 7 日間のログ回復を提供する Point In Time Recovery (PITR) SLA を使用してデータベースを保護する必要があります。

この要件を満たす最小のデフォルト SLA は何ですか？

- A. DEFAULT_008 ゴールド SLA
- B. DEFAULT_008 ブロンズ SLA
- C. DEFAULT_008 シルバー SLA
- D. DEFAULT_008 真鍮SLA

正解: ([正解を表示します](#))

Nutanix Era (NDB) は、スナップショットとログバックアップの頻度が異なる DEFAULT_008 SLA を採用し、異なる復旧ポイント目標 (RPO) を実現します。比較は以下の通りです。

DEFAULT_008 GOLD SLA: 通常、頻繁なログバックアップ (例:15分ごと) と数時間ごとのスナップショットが実行されます。これは、RPOが非常に低い重要なデータベース向けに設計されています。

DEFAULT_008 SILVER SLA: 保護とリソース使用量のバランスが取れています。ログバックアップは1時間ごとに実行され、スナップショットはより低頻度で実行されます。このSLAは、リソースを過度に消費することなく、良好なRPO (目標復旧時点を必要とするデータベースに適しています)。DEFAULT_008 BRONZE SLA: ログバックアップの頻度が低く (例: 数時間と)、スナップショットの頻度も低くなります。RPO要件がそれほど厳しくないデータベースに使用されます。DEFAULT_008 BRASS SLA: ログバックアップの頻度が低く、通常、RPOが最も長くなる可能性のある、最も保護力の低いSLAと考えられています。

質問: 54

Linux 前提条件スクリプトを実行すると、管理者は必要な引数が -t のみにあることに気付きます。-t 引数は何を指定しますか？

- A. オペレーティング システムの種類
- B. タイムアウト間隔
- C. NDBサーバーのIP
- D. データベースエンジン

正解: [\(正解を表示します\)](#)

NDBのLinux前提条件スクリプトを実行する際、タイムアウト間隔を指定するための -t 引数は必須パラメータです。この引数は、スクリプトが特定の操作（接続チェック、パッケージのインストールなど）の完了をタイムアウトするまでの最大待機時間（秒単位を定義します。これは、インストール前の段階で環境が適切に構成され、応答性を確保し、無期限のハングアップを回避するために非常に重要です。

質問: 55

Nutanix AHV クラスタに NDB をインストールするための最初の手順は何ですか？

- A. NDB は SaaS サービスとして提供され、インストールは必要ありません。
- B. NDB の QCOW2 イメージ ファイルをダウンロードし、Prism Element にアップロードします。
- C. LCM アップデートを実行して、NDB の最新バージョンを取得します。
- D. Prism Central を開き、設定メニューで NDB VM を有効にします。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

Nutanix AHVクラスタにNDBをインストールするには、NutanixサポートポータルからNDBのQCOW2イメージファイルをダウンロードし、Prism Elementにアップロードする必要があります。このイメージファイルには、NDBソフトウェアとCentOSオペレーティングシステムが含まれています。イメージをアップロードしたら、イメージからVMを作成し、ネットワーク設定を構成する必要があります。次に、NDB VMをPrism Centralに登録し、設定メニューでNDBサービスを有効にする必要があります。

質問: 56

NDB 6.5 でネイティブにサポートされている MySQL デプロイメント モデルはどれですか？

- A. ローカルストレージ上の MySQL 単一インスタンス
- B. MySQL マスター・スレーブ非同期レプリケーション
- C. MySQL InnoDB Cluster / グループレプリケーション
- D. MySQL Cluster (NDB エンジン)

正解: [\(正解を表示します\)](#)

NDBは、InnoDB Cluster / グループレプリケーションなどの最新のMySQL HAアーキテクチャをサポートしています。MySQL NDB Clusterエンジンはサポートされていません。

質問: 57

管理者がEraでWindowsドメインプロファイルを作成しています。プロビジョニングプロセス中にスキップして入力できるオプションフィールドはどれですか？

- A. 参加するドメイン

- B. ドメインアカウント
- C. 組織単位
- D. SQL サービス起動アカウント

正解: ([正解を表示します](#))

管理者が Era で Windows ドメイン プロファイルを作成する場合、SQL サービス開始アカウントは、プロビジョニング プロセス中にスキップして提供できるオプションのフィールドです。このアカウントは、サーバーの起動時にSQL Serverサービスを開始するために使用されません。Windowsドメインプロファイルの作成時にこのフィールドが指定されていない場合は、プロビジョニングプロセス中に後で指定できます。

質問: 58

Era Time Machine の Gold SLA のデフォルトの継続的な回復時間はどのくらいですか?

- A. 30日間
- B. 15日間
- C. 60日間
- D. 90日間

正解: **A** ([コメントを发表する](#))

Era Time MachineのGold SLAにおける継続的なリカバリ期間はデフォルトで30日間です。これは、システムが過去30日間の継続的なリカバリポイントを保持し、この期間内の任意の時点でデータベースを復元できることを意味します。

質問: 59

Era をアップグレードするには、どの 2 つの方法を使用できますか? (2 つ選択してください)

- A. Nutanix LCM
- B. オフラインアップグレード
- C. ローリングアップグレード
- D. ワンクリックアップグレード

正解: ([正解を表示します](#))

Nutanix Eraは、オフラインアップグレードとワンクリックアップグレードの2つの方法でアップグレードできます。オフラインアップグレードでは、ソフトウェアアップデートを手動でダウンロードし、Eraインスタンスに適用する必要があります。ワンクリックアップグレードでは、Eraインスタンスがインターネットに接続され、Nutanixソフトウェアアップデートポータルにアクセスできる場合、Era管理コンソールからワンクリックで直接Eraをアップグレードできます。

質問: 60

変更を加える前に NDB が Time Machine スナップショットを自動的に作成するようにトリガーするアクションはどれですか?

- A. 別のAHVホストへのVMの移行
- B. スケジュールされたパッチ操作
- C. データベース内の手動スキーマ更新

D. クラスター内のフェイルオーバーイベント

正解: ([正解を表示します](#))

パッチ適用中、NDB は自動的にスナップショットを取得し、パッチ適用が失敗した場合に環境を安全にロールバックできるようにします。その他のイベントでは、スナップショットは自動的にトリガーされません。

質問: 61

新しいデータベースをプロビジョニングする場合、ターゲットに使用できるオプションは2つありますか? (2つ選択してください。)

- A. 既存の登録済みデータベースにデータベースをプロビジョニングする
- B. 既存のコンテナにデータベースをプロビジョニングします。
- C. 新しいコンテナにデータベースをプロビジョニングします。
- D. 新しいデータベース センダー\クラスターにデータベースをプロビジョニングします。

正解: **A,C** ([コメントを發表する](#))

Nutanix Database Automation (NCP-DB) の学習ドキュメントによると、新しいデータベースをプロビジョニングする場合、ターゲットには次の2つのオプションがあります。

既存の登録済みデータベースサーバーにデータベースをプロビジョニング :このオプションを使用すると、既存の登録済みデータベースサーバーにデータベースをプロビジョニングできます。

これは、Nutanix Eraで既に管理されているサーバーにデータベースを追加する場合に便利です。

新しいコンテナにデータベースをプロビジョニング :このオプションを使用すると、新しいコンテナにデータベースをプロビジョニングできます。これは、データベース用に新しい分離された環境を作成する場合に便利です。

有効的な**NCP-DB-6.10**問題集はJPNTTest.com提供され、**NCP-DB-6.10**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**NCP-DB-6.10**試験問題集を提供します。JPNTTest.com NCP-DB-6.10試験問題集はもう更新されました。ここで**NCP-DB-6.10**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/NCP-DB-6.10-mondaishu> **267問、30%ディスカウント、特別な割引コード: JPNshiken**」

質問: 62

管理者は、新しくプロビジョニングされたデータベースにTime Machineの初期設定を行っています。GUIで設定できる1日あたりのスナップショットの最大数はいくつですか？

- A. 4
- B. 6
- C. 8
- D. 12

正解: ([正解を表示します](#))

NDBで新しくプロビジョニングされたデータベースにTime Machineを設定する際、管理者はGUIを使用してデータ保護のためのスナップショットの頻度を設定できます。NDB GUIで設定できる1日あたりのスナップショットの最大数は6です。この制限により、データの粒度 (ポイントインタイムリカバリ用)とストレージオーバーヘッドのバランスが確保され、過剰なリソース消費を防止できます。管理者はTime Machine設定ウィザードを使用して、これらのスナップショットを一定の間隔 (例4時間ごと)でスケジュール設定できます。

質問: 63

マルチクラスター対応インストールで Era ソフトウェアのアップグレードを実行する場合、どのコンポーネントが最初にアップグレードされますか？

- A. Era クラスターエージェント
- B. データベース サーバー エージェント
- C. 時代日付倉庫
- D. 時代の下水道

正解: [A \(コメントを发表する\)](#)

Nutanix Database Automation (NCP-DB) の学習ドキュメントによると、マルチクラスター対応環境でEraソフトウェアをアップグレードする場合、最初にEra Cluster Agentがアップグレードされます。これは、Nutanix環境のアップグレードサイクルにおける最初のコンポーネントです。Era Cluster Agentは、Nutanixクラスターの健全性管理と監視に不可欠です。詳細については、Nutanixの公式ドキュメントとトレーニング資料をご覧ください。

質問: 64

SQL Server のソース データベースの復元操作を実行するときに、管理者が復元場所として新しい場所を選択する正当な理由は何ですか。

- A. ポイントインタイム復元を実行するにはログ ファイルが必要です。
- B. 管理者は新しい場所に復元し、Era に Nutanix のベスト プラクティスを適用させたいと考えています。
- C. 管理者は元のスキーマをそのまま維持したいと考えています。
- D. データベース ファイルは他のデータベース ファイルと同じディスク上に存在し、管理者はデータベースをできるだけ早く復元したいと考えています。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

Nutanix Database Automation (NCP-DB) で SQL Server のソースデータベース復元操作を実行する際、管理者は復元場所として「新しい場所」を選択できます。これは、新しい場所に復元し、Era に Nutanix のベストプラクティスを適用したい場合です。これは、Nutanix Era がデータベース管理を自動化・簡素化し、管理者が大規模なデータベース管理を行えるようにするとともに、復元プロセス中に Nutanix のベストプラクティスを適用するためです。これにより、復元されたデータベースの最適なパフォーマンスと信頼性が確保されます。

質問: 65

管理者は、NDB に新しい VLAN または IP プールを追加するタスクを担当する新しく雇用されたエンジニアに、最小限の権限アクセスを提供する必要があります。

このタスクを完了するには、管理者はどのロールを選択する必要がありますか？

- A. データベース管理者
- B. スーパー管理者
- C. データベースインフラストラクチャ管理者
- D. インフラストラクチャ管理者

正解: ([正解を表示します](#))

インフラストラクチャ管理者は、VLAN、IP プール、ストレージコンテナなどのネットワークおよびストレージリソースを管理する権限を持つ NDB のロールです。このロールは、NDB に新しい VLAN または IP プールを追加する必要があるエンジニアに適しています。他のロールは、このタスクに必要な権限よりも多くまたは少なくなっています。データベース管理者は、データベースとデータベースサーバー VM を管理できますが、ネットワークとストレージリソースは管理できません。スーパー管理者は NDB のあらゆる側面を管理できますが、これは必要な最小限の権限アクセスを超えています。データベース インフラストラクチャ管理者は、データベースとネットワークおよびストレージリソースの両方を管理できますが、これも必要な最小限の権限アクセスを超えています。

質問: 66

管理者は、データベースVMにIPアドレスを提供するためにVLANを割り当てる必要があります。ネットワークプロファイルを作成する手順を教えてください。

- A. ネットワークプロファイルを作成し、IP範囲を定義します。VLANを追加します。
- B. ネットワーク プロファイルを作成し、VLAN を選択し、IP 範囲を定義します。
- C. VLANを追加し、ネットワークプロファイルを作成します。IP範囲を定義します。
- D. VLAN を追加し、IP 範囲を定義し、ネットワーク プロファイルを作成します。

正解: **B** ([コメントを發表する](#))

Nutanix Database Service (NDB) では、ネットワークプロファイルを使用して、データベース VM のネットワーク構成 (VLAN 割り当てや IP アドレス範囲など) を定義します。データベース VM に VLAN を割り当て、IP アドレスを提供するネットワークプロファイルを作成する正しい手順は次のとおりです。

ネットワークプロファイルの作成 :まず、NDB内で新しいネットワークプロファイルの作成を開始します。これは、NDBインターフェースの「ネットワーク」または「プロファイル」セクションから行います。

VLANの選択 :ネットワークプロファイルの作成プロセス中に、データベースVMが使用するVLANを指定します。Nutanixクラスタ (Prism Elementなど) で設定されている既存のVLANを選択するか、必要に応じて新しいVLAN IDを定義します。

IP範囲の定義 :最後に、選択したVLAN内のデータベースVMに割り当てるIPアドレス範囲 (サブネットや特定のIPなど) を定義します。これにより、VMは通信に有効なIPアドレスを受け取ることができます。

質問: 67

管理者は、HAインスタンスにリレーショナルデータベース管理システム (RDBMS) をプロビジョニングしようとしています。NDBでサポートされている2つのデータベースエンジンはどれですか？ (2つ選択してください。)

- A. モンゴDB
- B. MariaDB
- C. オラクル
- D. PostgreSQL

正解: ([正解を表示します](#))

Nutanix Database Service (NDB) は、特定のリレーショナルデータベース管理システム (RDBMS) の高可用性 (HA) インスタンスをサポートします。リストされているオプションのうち、NDB は Oracle と PostgreSQL の HA 構成をネイティブにサポートしており、レプリケーションやフェイルオーバーなどの機能を実現します。

これらのデータベースは、NDB の Time Machine および HA フレームワークと適切に統合されています。

質問: 68

管理者は、クローン作成ワークフロー中にデータベース接続の最大数を変更する必要があります。

管理者はどの Era プロファイルを選択する必要がありますか？

- A. 計算
- B. データベースパラメータ
- C. ネットワーク

正解: ([正解を表示します](#))

Nutanix Database Automation (NCP-DB) では、データベースパラメータプロファイルを使用して、データベース接続の最大数など、データベース固有の設定を管理します。このプロファイルは、管理者がクローン作成ワークフロー中にこれらの設定を変更する必要がある場合に適しています。

質問: 69

NDE ウィザードを完了するときにオプションとなる手順はどれですか？

- A. ネットワークセグメンテーション
- B. ND8 クラスタ名
- C. ストレージコンテナ
- D. サービス

正解: ([正解を表示します](#))

NDB (Nutanix データベースサービス) ウィザードを使用して初期セットアップまたは構成を完了する際、環境が適切に構成されていることを確認するために必須の手順と、特定のニーズに基づ

いて任意で実行できる手順があります。ネットワークセグメンテーションは、高度なネットワーク分離と構成を可能にするオプションの手順ですが、基本的なNDBの導入には必要ありません。必須の手順には、NDB クラスター名の指定、ストレージコンテナの選択、サービス (データベースサービスなど) の構成が含まれます。これらは、NDB が機能し、データベースを管理するために不可欠です。

質問: 70

既存のデータベースクローンを削除する必要が生じました。ユーザーへの影響を最小限に抑えるため、管理者はこの操作を週末にスケジュールしたいと考えています。この削除をスケジュールする際、指定された日時以外に、更新削除スケジュールのどのオプションが必須として事前に選択されていますか？

- A. 削除前にアラートを作成します。
- B. NDB からサポートスナップショットを削除します。
- C. NDB からデータベース クローンを登録解除します。
- D. VM からデータベース クローンを削除します。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

管理者がユーザーへの影響を最小限に抑えるために既存のデータベースクローンの削除をスケジュールする場合 (例: 週末NDBの 削除スケジュールの更新」機能を使用して操作を計画できます。オプションの中で、NDBから関連スナップショットを削除する」は必須のアクションとして事前に選択されています。これにより、クローン自体と同時に、クローンに関連付けられたスナップショットデータも削除され、Time Machineフレームワークにおけるストレージ効率と一貫性が維持されます。その他のオプションも選択可能ですが、デフォルトでは必須ではありません。

質問: 71

管理者は、ソースデータベースを特定の時点にクローン化する機能を必要としています。Era IJIでログキャッチアップ操作に設定できるログ間隔の最小値は何分ですか？

- A. 30
- B. 60
- C. 5
- D. 15

正解: [\(正解を表示します\)](#)

Era IJI におけるログキャッチアップ操作のログ頻度は、最短 5 分に設定できます。これにより、システムはデータベースへの変更を高頻度でキャプチャできるようになり、より正確なポイントインタイムリカバリオプションが可能になります。ただし、ログキャッチアップ操作の頻度を高くするとシステム負荷が増加する可能性があることにご注意ください。したがって、最適な頻度は、システムの具体的な要件と機能によって異なります。

詳細については、Nutanix Database Automation (NCP-DB) の学習ドキュメントを参照してください。

質問: 72

管理者は、21:50 の時点からソース データベースを復元する必要がありますが、復元オプションは使用できません。

この事態を説明できるものは何でしょうか？

The screenshot shows the Nutanix NDB Time Machine restore interface. The top part displays a timeline for October 31, 2024, from 1:00 to 23:00. A green bar indicates 'Backups in Time Machine' from 1:00 to 21:00. A yellow bar indicates 'Logs May Be Available For Backup' from 21:00 to 23:00. A red dot on the timeline at 21:50:00 is labeled 'Restore Time'. The 'Current Time' is also shown as 21:50:00. Below the timeline, the 'Restore Data To' section has 'Point in Time' selected with a time of 21:50:00. The 'Logs to Backup' section has 'Write Ahead Logs' checked. A 'Run' button is visible.

- A. 時点は最新の範囲内である必要があります。
- B. 選択された復元時刻は使用できません。
- C. スナップショット オプションに変更します。
- D. 最初にログのバックアップを実行する必要があります。

正解: D ([コメントを发表する](#))

提供された図は、2024年10月31日のNDB Time Machine復元インターフェースを示しており、21時50分にポイントインタイム (PIT) 復元オプションが選択されています。しかし、質問で示されているように、復元オプションは利用できません。図には、バックアップするログ データベースには追加のログが含まれている可能性があります。復元前に残りのログをバックアップしてください

い。そうしないと、ログは失われます。」という警告が含まれています。これは、PIT復元には継続的なログ保持が必要であり、最後のスナップショット（01:10:00などの時点がバックアップされていない場合、21:50へのリストアは続行できません。Logs to Backup」操作を実行すると、すべてのトランザクションログが確実に取得され、NDBが目的の時点までログを再生できるようになるため、PITリストアが可能になります。

質問: 73

NDB ユーザー インターフェイスはどの言語オプションを表示できますか？

- A. 韓国語
- B. 日本語
- C. フランス語
- D. ドイツ語

正解: ([正解を表示します](#))

NDB ユーザー インターフェイスは、英語、中国語、日本語など複数の言語をサポートしています。NDB設定ページで言語 (Reference:) を変更できます。NDBユーザーインターフェイスは現在、韓国語、フランス語、ドイツ語をサポートしていません。

質問: 74

管理者は、SQL Server シングル ノード データベース サーバー VM を NDB に登録する必要があります。

管理者がこのタスクを完了する前に、どのような条件が満たされている必要がありますか？

- A. データベース ファイルは Windows OS ブート ドライブに存在する必要があります。
- B. 指定されたログイン アカウントは、sysadmin ロールのメンバーである必要があります。
- C. SQL サービス アカウントにはマウント ポイントに対する読み取り権限が付与されません。
- D. SQL Server インスタンスはシングル ユーザー モードである必要があります。

正解: **B** ([コメントを发表する](#))

SQL Server シングルノード データベース サーバー VM を NDB に登録する前に、このタスクで使用するログイン アカウントが sysadmin ロールのメンバーである必要があります。これにより、SQL Server インスタンスの管理に必要な権限が確保されます。

質問: 75

外部アプリケーションが Era への API 呼び出しを行うために使用できる 2 つのポートはどれですか? (2 つ選択してください。)

- A. 9443
- B. 443
- C. 8443
- D. 9440

正解: ([正解を表示します](#))

Nutanix Eraは、自動化と外部アプリケーションとの統合のためのAPIエンドポイントを提供するデータベース管理システムです。これらのAPI呼び出しは、セキュリティ保護のため通常HTTPS経

由で行われ、HTTPSの標準ポートは443と9440です。実際に使用されるポートは、Nutanix Eraシステムの特定の構成によって異なる場合がありますのでご注意ください。正確な情報については、システムのドキュメントを確認するか、システム管理者に問い合わせることをお勧めします。

質問: 76

管理者は、ユーザーグループに Era に新しい VLAN または IP プールを追加する機能を提供したいと考えています。

管理者はこのグループにどのような最小限の役割を割り当てる必要がありますか？

- A. スーパー管理者
- B. データベース管理者
- C. インフラストラクチャ管理者
- D. データベースインフラストラクチャ管理者

正解: ([正解を表示します](#))

Nutanix Eraでは、新しいVLANまたはIPプールを追加する権限は通常、インフラストラクチャ管理者のロールに関連付けられています。このロールには、VLANやIPプールの作成を含むネットワーク構成の管理に必要な権限が付与されます。具体的な権限は、組織の具体的な構成やポリシーによって異なる場合があることにご注意ください。

有効的な**NCP-DB-6.10**問題集はJPNTTest.com提供され、**NCP-DB-6.10**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**NCP-DB-6.10**試験問題集を提供します。JPNTTest.com NCP-DB-6.10試験問題集はもう更新されました。ここで**NCP-DB-6.10**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/NCP-DB-6.10-mondaishu> **267問、30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 77

管理者は Era IJI を使用してデータベース クローンをどのように作成すればよいですか？

- A. データベース、クローン、クローンの作成を選択します。
- B. データベース、ソースを選択し、ソース データベースを選択して、クローンの作成を選択します。
- C. Time Machines を選択し、ソース データベース エンドを選択してから、クローンの作成を選択します。
- D. データベース サーバー VM を選択し、データベース サーバー VM を選択してから、クローンの作成を選択します。

正解: ([正解を表示します](#))

Nutanix Database Automation (NCP-DB) では、Time Machine 機能を使用してデータベースを保護し、データベースのクローンを作成します。Era インターフェースを使用してデータベースのクローンを作成するには、管理者は「Time Machine」を選択し、ソースデータベースを選択して、ク

ローンの作成」を選択します。このプロセスにより、管理者は特定の時点におけるソースデータベースのコピーを作成できます。

質問: 78

NDB では、データベース クローンを作成するときに使用できる Time Machine オプションは2つありますか? (2つ選択してください。)

- A. 時点
- B. 復元ポイント
- C. バックアップ
- D. スナップショット

正解: [A,D \(コメントを發表する\)](#)

正解はAとDです。これらは、NDBでデータベースクローンを作成する際に利用できる2つのTime Machineオプションです。Point in Time」オプションでは、日時を指定して、データベース履歴の特定の時点からクローンを作成できます。Snapshot」オプションでは、以前に取得したスナップショットを選択して、データベースの一貫性のある状態からクローンを作成できます。

選択肢Bは不正解です。復元ポイント」はTime Machineのオプションではなく、ユーザーがソースデータベースを過去の時点に復元できる機能です。選択肢Cは不正解です。「バックアップ」はTime Machineのオプションではなく、ユーザーがデータベースをリモートの場所にバックアップできる機能です。

質問: 79

NDB サーバー、NDB エージェント、および NDB データベース エージェントが REST API 呼び出しを介して登録されたクラスターと通信できるようにするには、どのポートを開く必要がありますか?

- A. 2009
- B. 3205
- C. 3260
- D. 9440

正解: [\(正解を表示します\)](#)

NDBサーバー、NDBエージェント、およびNDBデータベースエージェントが登録済みクラスターとREST API呼び出しを介して通信できるようにするには、ポート2009を開く必要があります。このポートは、NDBコンポーネントがNutanixクラスター (Prism ElementやPrism Centralなど)とのRESTful通信 (プロビジョニング、監視、管理などの操作)を容易にするために使用されます。このポートへのトラフィックを許可する適切なファイアウォール構成は、NDBとクラスターの統合の前提条件です。

質問: 80

管理者は、Oracle Clusterデータベースをプロビジョニングする際に、管理メニューからNDBに追加された新しいVLANを利用できるようにする必要があります。プロビジョニングのために新しいVLANを公開するには、何をする必要がありますか？

- A. Prism Element で新しい VLAN を作成し、NDB で検出します。
- B. 新しい VLAN を含めるようにネットワーク プロファイルを更新します。
- C. Prism Element を新しい VLAN で更新し、NDB で検出します。
- D. 新しい VLAN を使用して新しいネットワーク プロファイルを作成します。

正解: **B** ([コメントを發表する](#))

ネットワークプロファイルは、NDBでデータベースサーバーVMをプロビジョニングするために使用されるネットワーク設定の集合です。ネットワークプロファイルには、1つ以上のVLAN、IPアドレス範囲、DNSサーバーを含めることができます。Oracleクラスタデータベースのプロビジョニング時に新しいVLANを使用できるようにするには、ネットワークプロファイルを更新して新しいVLANを含める必要があります。これは、既存のネットワークプロファイルを編集するか、新しいVLANを含む新しいネットワークプロファイルを作成することで実行できます。NDBはAHVで設定されたVLANを検出できるため、Prism ElementでVLANを作成または更新する必要はありません。

質問: 81

添付資料を参照してください。OEL79およびOracle 19c上でASMLIBをテストするために、新しいOracle SIHA DBとVMをプロビジョニングするリクエストを受け取りました。プロビジョニングワークフローを確認すると、ASMドライバーのドロップダウンにはASMFDのみが表示されます。要求されたSIHA DB および DB VM を ASMLIB でプロビジョニングするには何が必要ですか？

Database Server VM

Create New Server
 Use Registered Server

New Database Server VM

Database Server VM Name: Description:

Nutanix Cluster:

Software Profile: Compute Profile: Network Profile:

Version: October 20... [Update Version](#)

NDB Drive User: Password:

Enable High Availability (SIHA)

SYS ASM Password:

SSH Public Key for Node Access:

ASM Driver: (dropdown menu open showing None, ASMFD)

- A. ソフトウェア プロファイルを更新して、ASMLIB ドライバーを含めます。
- B. NDB サーバーに ASMLIB をインストールします。
- C. NDB ドライバー構成を更新して、Oracle 用の ASMLIB を有効にします。
- D. データベース サーバーに ASMLIB をインストールします。

正解: ([正解を表示します](#))

Nutanix Database Automation (NCP-DB) のコンテキストにおいて、新しい Oracle SIHA DB および VM をプロビジョニングする際に、ASM ドライバー ドロップダウンに ASMFD しか表示されない場合は、現在のソフトウェア プロファイルに ASMLIB が含まれていないことを示しています。要求された SIHA DB および DB VM を ASMLIB でプロビジョニングするには、ソフトウェア プロファイルを更新して ASMLIB ドライバーを含めることが不可欠です。この操作により、プロビジョニング ワークフロー中に ASM ドライバー ドロップダウンのオプションとして ASMLIB が有効になります。

質問: 82

ESXi 上の Era VM に静的 IP アドレスを割り当てるにはどのコマンドを使用できますか?
セット

```
era-server > era
```

```
era-server >
```

管理者は、Oracle Database Server VM を Era に登録しようとしています。

どの依存関係を満たす必要がありますか?

- A. SUDO NOPASS アクセスが必要です
- B. ソースデータベースでreQUIREetty設定を有効にする
- C. /TEMP フォルダには読み取り専用権限が必要です
- D. パスを設定 = /sbin:/bin:/usr/sbin:/usr/bin

正解: **A** ([コメントを發表する](#))

Nutanix Database Automation (NCP-DB) で Oracle Database Server VM を Era に登録するには、いくつかの条件を満たす必要があります。その一つとして、SUDO NOPASS アクセスが必要です。これにより、Era サービスは Oracle Database Server VM 上で必要な操作を実行できます。ESXi 上の Era VM に静的 IP アドレスを割り当てるには、vSphere Client を使用して静的 IP 設定を構成することができます。ただし、これは Oracle Database Server VM を Era に登録することとは直接関係ありません。これらの回答は、2021 年の最終更新時点で入手可能な情報に基づいており、最新の Nutanix Database Automation (NCP-DB) ドキュメントまたはリソースで検証する必要がある場合があることにご注意ください。

質問: 83

ソース データベースのトランザクション ログがログにコピーされる前に一時的に保存されるのに使用されるものは何ですか。

- A. データベースエージェント
- B. NDBドライブ
- C. タイムマシン

D. NDBプロファイル

正解: [A \(コメントを发表する\)](#)

データベースエージェントは、ソースデータベースのトランザクションログをログにコピーする前に一時的に保存するために使用されます。これは、データベース操作におけるデータの整合性とリカバリを確保するために不可欠なコンポーネントです。

質問: 84

管理者は、記憶域スペースにプロビジョニングされたデータベースを復元する必要があります。仮想ディスクは複数のデータベースで共有されています。

どの復元方法がサポートされていますか？

- A. NDB GUI によるディスクベースのリストア
- B. NDB CLI 経由のディスクベースのリストア
- C. NDB GUI経由のコピーベースのリストア
- D. NDB CLI 経由のコピーベースのリストア

正解: [\(正解を表示します\)](#)

記憶域スペース上にプロビジョニングされたデータベースを復元する場合、特に仮想ディスクが複数のデータベース間で共有されている場合、NDB GUIを使用したコピーベースの復元がサポートされています。この方法により、共有ストレージ環境に適した、正確かつ制御された復元プロセスが可能になります。

質問: 85

管理者は、最近障害が発生したOracleデータベースの復旧を任せられました。管理者はデータベースを前日の状態に復旧する必要があります。使用可能な復旧オプションを2つ選択してください。

- A. 最新の利用可能な時間
- B. スナップショット
- C. 末尾ログのバックアップ
- D. 時点

正解: [\(正解を表示します\)](#)

正解はBとDです。これらは、Nutanix Eraを使用してOracleデータベースを前日の状態に復元するために使用できる2つの復元オプションです。スナップショットとは、データベースからログとスナップショットを収集する分散ファイルシステムであるEra Time Machineに保存される、データベースのポイントインタイムコピーです。ポイントインタイムとは、データベースに適用されているSLAポリシーの保持期間内の特定の時点です。これらのオプションのいずれかを使用することで、管理者は前日の状態に対応するスナップショットまたはポイントインタイムを選択し、そこからデータベースを復元できます。その他のオプションは、Nutanix Eraで使用できる復元オプションではないため、不正解です。オプションAは不正解です。「Most Recent Time Available (最新の利用可能な時間)」は復元オプションではなく、最新のスナップショットまたはログバックアップからデータベースのクローンを作成するクローンオプションであるためです。オプションCは不正解です。「Tail Logs Backup (ログの追跡)」は復元オプションではなく、SLAポリシーによって

バックアップされていないデータベースのトランザクションログを取得するバックアップオプションであるためです。

質問: 86

ソフトウェア プロファイルから省略されるディスクはどれですか？

- A. システムページファイル
- B. SQL インストール
- C. ユーザーデータベース
- D. システムデータベース

正解: ([正解を表示します](#))

Nutanix Database Automation (NCP-DB) コースによると、ソフトウェア プロファイルとは、データベース エンジンのバージョン、エディション、機能、パラメータなどの構成を定義するテンプレートです。また、データベースのインストールに必要なディスクレイアウト（各ディスクのサイズ、タイプ、マウントポイントなど）も指定します。ただし、システム ページ ファイル ディスクは、データベース サーバー VM のメモリ サイズに基づいて NDB サービスによって自動的に作成されるため、ソフトウェア プロファイルには含まれていません。その他のオプションは、データベースの運用とパフォーマンスに不可欠なため、ソフトウェア プロファイルに含まれています。

質問: 87

NDB アラート保持機能に関して正しい記述はどれですか？

- A. NDB はアラートの保持をグローバルにサポートします。
- B. NDB は個別のポリシーでの保持をサポートします。
- C. NDB はグループ化されたポリシーでの保持をサポートします。
- D. NDB は登録されたクラスターでの保持をサポートします。

正解: **A** ([コメントを发表する](#))

NDBアラート保持機能により、データベース管理者はNDBアラートがNDBインスタンスに保存され表示される期間を設定できます。NDBアラート保持機能はアラートのグローバル保持をサポートしており、ソースクラスタ、ポリシー、またはオペレーションに関係なく、NDBインスタンスによって生成されるすべてのアラートに同じ保持期間が適用されます。データベース管理者は、アラート保持期間を1日から365日まで設定することも、アラートを無期限に保持することもできます。NDBアラート保持機能は、ストレージスペースとNDBアラートの可視性の管理に役立ちます。NDBアラートの保持機能は、個々のポリシー、グループ化されたポリシー、または登録されたクラスターレベルでの保持をサポートしていません。NDBアラートの保持機能はすべてのアラートに均一に適用され、データベース管理者がポリシーやクラスタごとに異なる保持期間を指定することはできません。

質問: 88

管理者は、Nutanix NDB上で稼働するOracleデータベースのストレージをASMLibを使用して構成しました。管理者はデータベースのサイズを拡張したいと考えています。データベースのサイズを最も効率的に拡張するには、どうすればよいでしょうか？

- A. NDB に組み込まれたスケーリング機能を活用して、既存の vDisk のサイズを変更します。
- B. 新しい vDisk を追加してサイズを拡張します。
- C. 新しい、より大きなデータベースを作成して移行します。
- D. iSCSI LUN をマウントし、データベースを新しい LUN に拡張します。

正解: [A \(コメントを发表する\)](#)

Nutanix NDB上で稼働し、元々ASMLib（自動ストレージ管理ライブラリ）を使用して構成された Oracleデータベースのサイズを管理者が拡張する必要がある場合、最も効率的なアプローチは、NDBに組み込まれたスケーリング機能を使用して既存のvDiskのサイズを変更することです。NDBは、データベースVMに関連付けられた仮想ディスク (vDisk)の動的なサイズ変更をサポートしているため、管理者はデータベースを中断したり複雑な移行を行ったりすることなく、ストレージ容量を増やすことができます。この方法は、Nutanixのストレージ統合を活用し、基盤となるvDiskのサイズを変更し、新しいサイズを反映するようにASMLib構成を更新することで、シームレスな運用を実現します。

質問: 89

管理者はNDB管理プレーンコンポーネントを配布する必要があります。同じL2ネットワーク上にあるどのNDB HA VMを展開する必要がありますか？

- A. NDBエージェント
- B. API サーバー
- C. リポジトリVM
- D. HA プロキシ VM

正解: [\(正解を表示します\)](#)

NDB 高可用性 (HA) は、API サーバー、リポジトリ VM、NDB エージェントなどの NDB 管理プレーンコンポーネントの可用性と信頼性を確保する機能です。NDB HA を有効にするには、NDB サーバー VM と同じ L2 ネットワーク上に少なくとも 3 台の HA プロキシ VM をデプロイする必要があります。HA プロキシ VM は、NDB 管理プレーンコンポーネントのロードバランサおよびヘルスマニターとして機能し、NDB API および UI にアクセスするための単一のエンドポイントも提供します。

質問: 90

Nutanix AOS のどのストレージテクノロジーにより、Time Machine は最小限のスペース使用量で複数のスナップショットを効率的に維持できるようになりますか？

- A. RAID 10 データストライピング
- B. 消失訂正符号
- C. リダイレクトオンライト (ROW)スナップショット
- D. 同期レプリケーション

正解: [\(正解を表示します\)](#)

Nutanix AOS は Redirect-on-Write (ROW) スナップショットを使用するため、NDB Time Machine はデータセット全体をコピーせずに頻繁にスナップショットを作成でき、時間とスペースを大幅に節約できます。

質問: 91

図を参照してください。図に示されているアカウントを持つ管理者が、新しいデータベース管理者をローカルユーザーとしてNDBに追加しようとしています。タスクを完了できません。この問題の原因として最も可能性が高いものは何でしょうか？

<input type="radio"/> bsmith	Super Admin	Local User	
<input type="radio"/> bsmith@ntnxlab.local	Database Admin	AD Group	bsmith@ntnxlab.local

- A. 管理者はスーパー管理者アカウントでログインしています。
- B. スーパー管理者アカウントには電子メールアドレスが必要です。
- C. 管理者はデータベース管理者アカウントでログインしています。
- D. ドメイン管理者グループのユーザーのみがローカルユーザーを作成できます。

正解: ([正解を表示します](#))

添付資料によると、管理者はデータベース管理者アカウント (bsmith@ntnxlab.local) でログインしていますが、このアカウントにはNDBにローカルユーザーを作成する権限がありません。「ユーザータイプ」列に示されているように、この権限を持つのはスーパー管理者アカウント (bsmith) のみです。

したがって、管理者はログアウトし、スーパー管理者アカウントで再度ログインして、新しいデータベース管理者をローカルユーザーとして NDB に追加する必要があります。

有効的なNCP-DB-6.10問題集はJPNTTest.com提供され、NCP-DB-6.10試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新NCP-DB-6.10試験問題集を提供します。JPNTTest.com NCP-DB-6.10試験問題集はもう更新されました。ここでNCP-DB-6.10問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/NCP-DB-6.10-mondaishu> **267問、30%ディスカウント、特別な割引コード: JPNshiken**」

質問: 92

管理者は、すべてのロールの情報と、各ロールに割り当てられているユーザーの数を表示したいと考えています。この情報を表示するには、ユーザーはどのロールに属している必要がありますか？

- A. データベースインフラストラクチャ管理者
- B. データベース管理者
- C. インフラストラクチャ管理者
- D. スーパー管理者

正解: ([正解を表示します](#))

NDB内のすべてのロールと、各ロールに割り当てられているユーザー数に関する情報を表示するには、スーパー管理者ロールに属している必要があります。このロールには、NDB GUIの「ユーザーとロール」セクションへのアクセスを含む完全な管理権限が付与され、ロールの割り当てと

ユーザー数を確認できます。下位層のロール（例データベースインフラストラクチャ管理者、データベース管理者、インフラストラクチャ管理者）は権限が制限されており、この包括的なロール/ユーザーの概要にアクセスできません。

質問: 93

管理者は NDB にストレッチ VLAN を追加しています。
どの VLAN タイプがこのタスクを満たすでしょうか？

- A. NDBで管理されていないVLANのみ
- B. NDBで管理される静的VLANのみ
- C. 動的VLANのみ
- D. 静的VLANと動的VLANの両方

正解: ([正解を表示します](#))

管理者は、静的VLANまたは動的VLANのいずれかを使用して、NDBにストレッチVLANを追加できます。ストレッチVLANは、複数のNutanixクラスタにまたがるVLANであり、NDBで管理されるデータベースが異なるクラスタ間で通信および移行できるようにします。静的VLANは、管理者が手動で構成し、データベースサーバーVMとデータベースに割り当てるVLANです。動的VLANは、Nutanix Calmオーケストレーションサービスを使用して、NDBインスタンスによって自動的に構成され、データベースサーバーVMとデータベースに割り当てられるVLANです。クラスタ全体で同じVLAN IDとネットワーク構成を持つ限り、静的VLANと動的VLANの両方を使用してNDBにストレッチVLANを作成できます。

管理者は、NDBで管理されていないVLANのみを使用して、NDBにストレッチVLANを追加することはできません。NDBで管理されていないVLANとは、Nutanix Prism Webコンソールなどのツールを使用して、NDBインスタンスの外部にあるデータベースサーバーVMおよびデータベースに設定および割り当てられたVLANです。NDBで管理されていないVLANは、NDBインスタンスによって認識または制御されないため、NDBにストレッチVLANを作成するために使用することはできません。

質問: 94

管理者は、Oracle Database Server VM にパッチを適用し、Grid ホームに十分なストレージ領域が割り当てられていることを確認する必要があります。

このタスクを完了する前に、Grid ホーム用に最低限どれだけのスペースが必要ですか？

- A. 5 GB
- B. 10GB
- C. 15GB
- D. 20GB

正解: **B** ([コメントを公表する](#))

Oracle Database Server VMにパッチを適用する際は、Gridホームに十分なストレージ容量が割り当てられていることを確認することが重要です。ストレージ制約なしにパッチ適用プロセスを実行するには、最低10GBの容量が必要です。

質問: 95

管理者は、5日間のタイムトラベル機能（秒単位に加え、さらに7日間の個別リカバリを毎日維持する必要があります。管理者はSLAにおいて、頻度と保持期間をどのように定義すべきでしょうか？

- A. - 継続的なログ保存期間（日数）7
- 毎日のスナップショットの保持期間（日数）5
- B. - 継続的なログ保存期間（日数）5
- 週次スナップショット保持期間（週）1
- C. - 週次スナップショット保持期間（週）1
- 連続ログ保存期間（日数）7
- D. - 日次スナップショット保持期間（日数）7
- 連続ログ保存期間（日数）5

正解: [\(正解を表示します\)](#)

正解はDです。これは、5日間の任意の秒へのタイムトラベル機能と、さらに7日間の毎日の間隔での個別回復を維持するという要件を満たしているからです。

継続的なログ保持では、管理者は指定された日数内の任意の時点にデータベースを復元できません。一方、スナップショット保持では、管理者は一定の間隔で特定の時点にデータベースを復元できます。したがって、日次スナップショット保持を7日間に設定することで、管理者は曜日ごとに個別のリカバリポイントを確保できます。継続的なログ保持を5日間に設定することで、管理者は過去5日間の任意の時点へのタイムトラベル機能を確保できます。その他のオプションは、継続的なログ保持期間が5日間未満、またはスナップショット保持期間が7日間未満であるため、要件を満たしていません。

質問: 96

管理者がソース データベースのサイズを確認する2つの場所はどこですか？(2つ選択してください)

- A. ソース データベースの Era ダッシュボード データベース サマリー テーブル上。
- B. データベース サーバー VMS > データベースの概要リスト ページの容量ウィジェットの下。
- C. データベース > ソース テーブル。
- D. 割り当てられた DB パラメータ プロファイルの [プロファイル] > [データベース パラメータ] リスト。

正解: [A,C \(コメントを发表する\)](#)

オプションA: Eraダッシュボードの「ソースデータベース」の「データベース概要テーブル」。ダッシュボードには、データベースの概要（サイズを含む）が表示されます。

オプションC: 「データベース」>「ソース」テーブル。このテーブルには、データベースのサイズなど、データベースに関する詳細情報が表示されます。

有効的な**NCP-DB-6.10**問題集はJPNTest.com提供され、**NCP-DB-6.10**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**NCP-DB-6.10**試験問題集を提供します。JPNTest.com NCP-DB-6.10試験問題集はもう更新されました。ここで**NCP-DB-6.10**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/NCP-DB-6.10-mondaishu> **267問、30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」